資料６

白井市　第５次総合計画後期基本計画

市民意見交換会
実施報告書

2020 年２月

１　実施概要

（１）開催概要

市民意見交換会の実施状況について、以下表に示す。

表　市民意見交換会の実施内容

開催日	時間	会場	人数
１月 26 日（日）	10：00～12：00	文化センター	８１人
	15：00～17：00	西白井複合センター	４６人
２月１日（土）	10：00～12：00	桜台センター	３０人
	15：00～17：00	冨士センター	２５人
			合計１８２人

（２）内容

１）はじめに　市民意見交換会の趣旨について

２）市長から　あいさつ及び総合計画及び市の現状、住民意識調査結果概要についての説明

３）ワークショップ

テーマ：「白井市の将来像を実現するために重要なことについて意見交換しよう」

◆グループ討議

◆グループによる発表

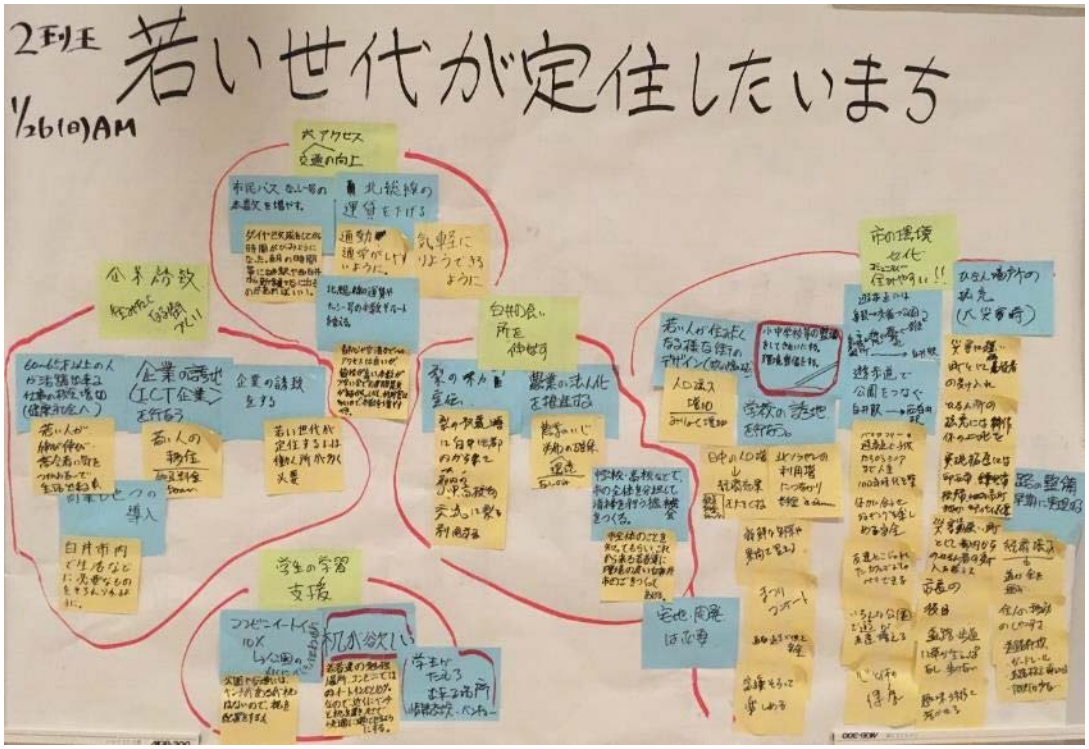
４）市長からのコメント

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【交通の利便性】 ◆道路ネットワークができていいない ◆工業団地から木下街道への構想道路をスピード感（５年くらい）を持って取り組む →木下街道と河原子街道の交差点の混雑解消を早急に実現すべきだ
【商業振興】 ◆つぶれた店があるのはよくない。色々な店を用意してほしい →偏りのない店舗の誘致 ◆市内にショッピングモールなどを作る →市内のにぎわい増える ◆活気がある町元気がある町にしたい →人が集まる →交流が出てくる
【子育て】 ◆自然環境が整っているので 社会環境の充実 ◆保育環境の充実化 ◆子育てにやさしい街づくり 一人親家庭の援助 幼稚園の拡充

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
→幼稚園と小学校の状況の差の解消 →保育園の待機児童などを減らして働きやすい町にする
【教育】 ◆教育・文化の質的充実 ◆授業料の補填を行い経済的ハンディをなくす ◆キャリアデザインの構築
【北総料金の値下げ】 ◆鉄道料金の値下げを
【インフラ整備】 ◆道路沿いの木や道路自体の整備 白線消えている →自転車通学で不便を感じている →まちの見た目が悪くなる →旧市街地道路歩行ブロック設置 →車いすにやさしい歩道 →樹木の撤去 ◆道路に白線が無く消えすぎている
【公共交通】 ◆交通の利便性 →バスの便少ない
【空き家対策】 ◆集合住宅有効活用 ◆集合分譲住宅の空室をなくそう →集合住宅の有効利用 空室の利用促進

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター



若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【交通の向上アクセス】 ◆市民バスナッシー号の本数を増やす →ダイヤ改正をしてから時間が微妙になった。朝の時間帯に白井駅や西白井から新鎌ケ谷に出るのがあればいい ◆北総線の運賃を下げる →通勤通学がしやすいように 気軽に利用できるように ◆北総線の運賃やナッシー号の本数やルートを変える →都心や空港などへのアクセスは良いが、値段が高い、本数が少ないなどの問題があるから。しかも、利用客は多いので、本数を増やすべき
【企業誘致　住みたくなる街づくり】 ◆60～65 才以上の人が活躍出来る仕事の機会増加（健康社会へ） →若い人が、伸び伸び高齢者に気をつかわないで生活出来る ◆企業の誘致＜ICT 企業＞を行う →若い人の移住 鉄道料金 Down ◆企業の誘致をする →若い世代が定住するには働く所が多く必要 ◆商業施設の導入 →白井市内で生活などに必要なものをそろえられるように

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【白井の良い所を伸ばす】 ◆梨の魅力を宣伝 →梨の収穫時に白井に都内から来ていただく 都内の小中高校の交流に梨を利用する ◆農業の法人化を推奨する →農業の維持 労働環境の確保 ◆中学校・高校などで、市の全体を分担して、清掃を行う機会をつくる →市全体のことを知ってもらい、これから来る若者達に環境の良い白井市をつくってあげる
【市の環境整備　コミュニティー　住みやすい！】 ◆若い人が住みたくなる様な街のデザイン（牧の原の様に） →人口流入増加　魅力増加 ◆小中学校等の整備をしてきれいにする。環境整備をする ◆学校の誘致を行う →日中の人口増→経済効果を大きくする　鉄道料金　Down →北総線の利用増につながり　料金 →新鮮な野菜や果物を買える →まつりコンサート →通勤通学で使え安全 →家族そろって楽しめる ◆遊歩道には白井駅→交番→公園→学校→市役所→商店街→白井駅 ◆遊歩道で公園をつなぐ　白井駅→西白井駅 →バリアフリーの遊歩道で子供たちからシニアまで人生 100 年時代を繋ぐ →体力に合わせジョギングを楽しめる安全 →友達とこじゃれたカフェでおしゃべりできる →いろんな公園で遊べ、友達増える →心と体の健康 ◆避難場所の拡充（災害時） →災害に強い町として被災者の受け入れ →避難所の拡充には遊休の土地を 実施する際には印西市、鎌ケ谷市、松戸市、他の市町との提携が必要 →災害に強い町として都内からの避難者の受け入れ整える →市長の役目 →道路・歩道に草が生えっぱなし、歩けない →趣味得技を活かせる ◆路の整備　早期に実現する →経済流入→道が金を運ぶ →住人の移動のしやすさ →道路行政

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
・ガードレール ・道路標示消えている ・街灯が少ない
【学生の学習支援】 ◆コンビニイートイン 10%→公園の近くに勉強出来る場所 →公園や歩道にはベンチがあるが机はないので、机を配置する ◆机が欲しい →若者達の勉強場所、コンビニでイートインだと 10%なので、近くにベンチと机を置き、そこで快適に過ごせるようにする ◆学生がたむろ出来る場所　情報交換・勉強

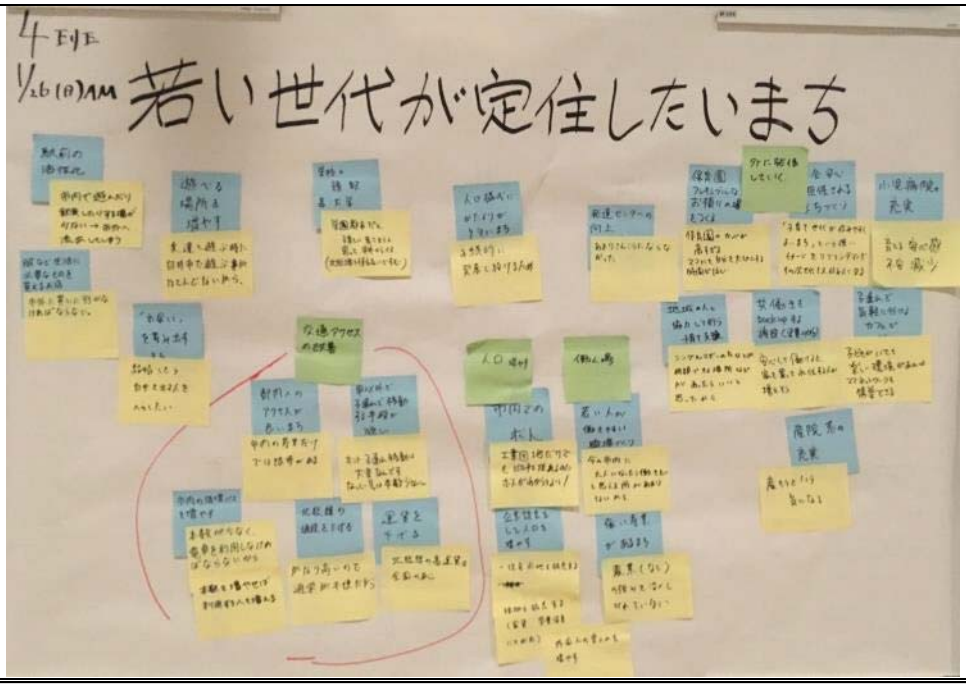
≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【学校関係 子育て】 ◆保育所を十分に作る →若いお母さんが安心するから ◆学校の補助員を増加してほしい →部活動の指導不足　指導者の知識不足 →学校からプリントが多く出ていて雑用的な人をする人材がほしい ◆子育てをしながら働くことがむずかしい →小学校に入ってからあずける場所が少ない 学童・ファミリーサポート等 ◆学校で使用する楽器の管理 →楽器がたりない ◆子育て支援の充実化 →子育てをするお母さんが安心できる ◆給食のバリエーションを増やす →同じものが多く、楽しみが少ないため ◆学校の設備を充実させる →子供が通っていてたのしいと思うことで、その子が大人になったとき、また白井に住みたいと思うから ◆学校（大学構内）の誘致 →人を育てる場、機会の提供あると

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
◆子育・教育の良環境創り →若い家族の主課題 ◆学び（文化・芸術・スポーツなど）の多いまち →生き甲斐につながる
【医療】 ◆子供たちへの医療費を十分にする →親が白井市に住み続けられる安心感から ◆医療費を無償化する →安心して子育てができるし、負担にならないから
【町作り】 ◆カフェやレストランなど、若い人や、子供づれが行きやすい店をもっとつくる →息抜きの場をつくり、地域交流を図る ◆交流のまち ・共者同志 ・世代間交流 →コミュニケーションは生きがい ◆白井駅前に本屋を呼ぼう！！ →本屋は町の文化の象徴でもある ◆祭りなど市民が楽しめる場を作る →市民同士の関わりを増やすため
【職場】 ◆工業団地で勤める場合自家用車が必要といわれる →会社を巡回するバスがあったらいい →残業した社員がタクシーで帰っていた ◆企業の誘致 →若者が働ける場所をつくる→住んでもらう ◆仕事の場を増加 →収入を得る
【交通】 ◆北総線の値下げや、交通の便をもっとよくする →仕事や学校に行くのが楽になる ◆北総線の料金の負担を減らす →安心してあちこちに移動できる ◆北総線を値下げしてほしい →親子などでの外出がしやすくなるから ◆電車やバスの本数を増やす

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
→通勤・通学が便利になるから ◆バスの時間帯を広くする →どんな時間帯であっても困らないようにするため ◆ふるさと納税への市の減収の対策を →市の税収は子供たち若い親たちへの福祉につながる ◆北総線の値下げ →通勤・通学に不便であるため
【防災】 ◆防災関連の充実 →若い人たちが安心して進み続けられるから ◆白井市に希望が持てる →②まだまだ住宅を増やせる ◆私達が白井市に住みたいと思うこと →①空気が良い　緑が多い ◆安心安全な住宅の促進 →災害に強い→生活の基盤 ◆外灯を増やす →学生にとって暗い道は危険なため

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター



若い世代が定住したいまち
◆「実現するために重要なこと →その理由
【外に発進していく】 ◆駅前の活性化 →市内で遊んだり飲食したりする場所が少ない→市外へ流出してしまう ◆遊べる場所を増やす →友達と遊ぶ時に白井市で遊ぶ事がほとんどないから ◆服など生活に必要なものを買えるお店 →市外に買いに行かなければならない ◆「出会い」を育み出すまち →結婚したら白井を出る人を減らしたい ◆学校の誘致　高・大学 →学園都市だと子育てに良さそうと思って市外からくる（北総線を使わないですむ） ◆人口構成に偏りが少ないまち →永続的に発展し続けるため ◆発達センターの向上 →あまり参考にならなかった ◆保育園　フレキシブルなお預かりの場をつくる →保育園のカベが高すぎる ママにも自分を大切にする時間がほしい ◆安全安心担保されるまちづくり →「子育て世代が住みやすくよいまち」という清いイメージをリブランディング その次世代も又住みたくなる ◆小児病院の充実

若い世代が定住したいまち
◆「実現するために重要なこと →その理由
→育てる安心感　不安減少 ◆地域の人と協力して行う子育て支援 →シングルマザーの方などが相談できる場所などがあったらいいと思ったから ◆共働きを back up する施設（学童以外） →安心して働けると、家を買って永住する人が増えそう ◆子連れで気軽に行けるカフェがほしい →子どもがいても楽しい環境があればママネットワークも構築できる ◆産院系の充実 →産もうという気になる
【交通アクセスの改善】 ◆都内へのアクセスが良いまち →市内の産業だけでは限界がある ◆車以外で子連れで移動する手段が欲しい →ホント子連れ移動は大変なんです　なっしー号は本数少ないし ◆市内の循環バスを増やす →本数が少なく、電車を利用しなければならないから 本数を増やせば利用する人も増やせる ◆北総線の値段を下げる →かなり高いので通学が不便だから ◆運賃を下げる →北総線の高運賃は全国の恥
【人口増やす】 ◆市内での求人 →工業団地だけでも 350 社位あるのに求人がわからない！ ◆企業誘致をして人口を増やす →・住宅団地を拡充する ・補助を拡充する（家賃　学童保育　バス利用） →外国人の受け入れを増やす

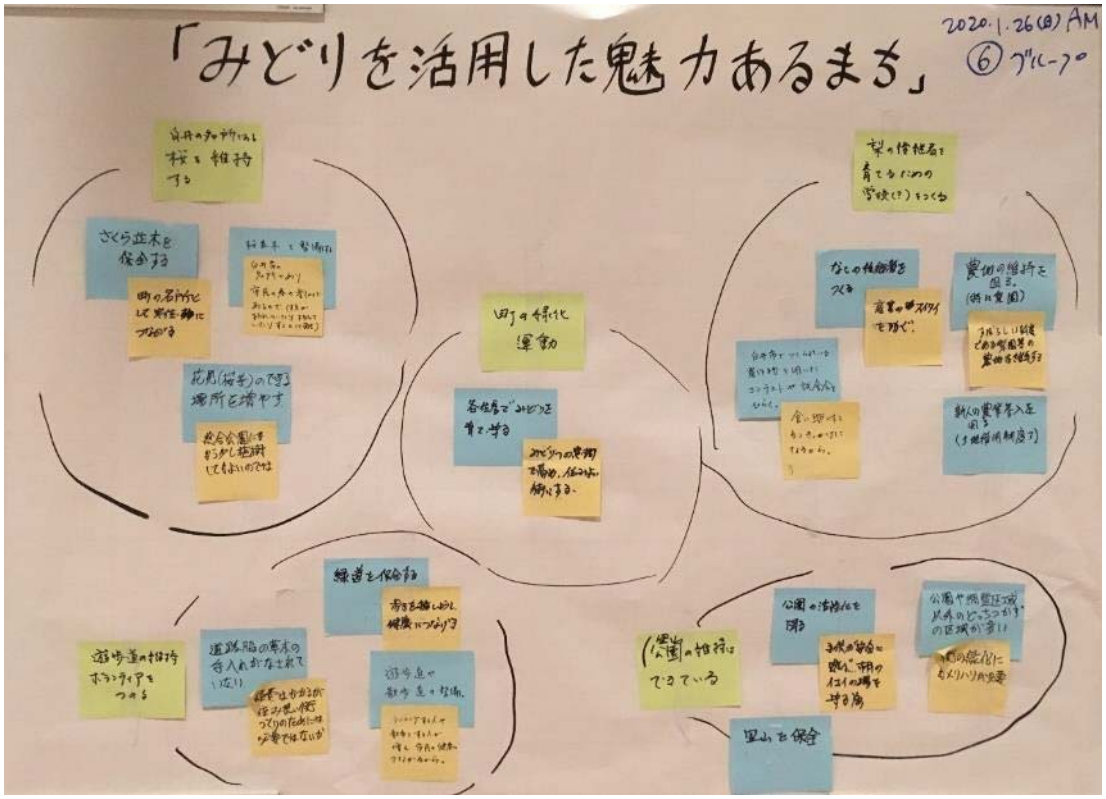
若い世代が定住したいまち
◆「実現するために重要なこと →その理由
【働く場】 ◆若い人が働きやすい職場づくり →今の市内に大人になったら働きたいと思える所があまりないから ◆強い産業があるまち →農業（梨）の強みを活かしきれていない

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター　【５班】

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【まちづくり】 ◆ソフト面も含めた優良企業を誘致すべき ◆にぎやかより安心を重視するまちづくり ◆新しい開発時にはグリーンインフラを導入する →みどりの機能を生かした街づくりを進めるため
【環境保全】 ◆無秩序なソーラーパネルの設置を監視する →動植物の生息環境を保全するため ◆雑木林や森を保護する →ジブリの森のように、自然を守り人の交流をする ◆みどりが少しずつ減ってきている →山林が開発されている 他の人が売ってしまうものを止められない
【都市緑地・公園】 ◆公園整備に市民が参画する →地元のみどりに興味を持つため ◆街路樹の整備をする

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
→美しく、きれいな街にするため ◆花壇は、まちや地域で設計してつくる →花を道端などに植えてあるがよくない（街の美しさを損なう）
【環境学習・環境活動】 ◆学校ビオトープ・使えていないプールを環境学習に使う →身近な動植物を子供たちが感じられる場にするため ◆みどりの保全について　市の施設等のない地区です →公園など　行政の入っていない
【農業】 ◆農地の有効活用 →みどりの保全　防災力向上 ◆梨農家の減少　あとを継ぐ人がいない →収入 台風・雨等の風水害 消毒等の害に対して、新しい住民からの指摘 剪定師の処理の仕方　燃やすこと ◆若い人が農家の仕事をしていないので年配の人が多い →息子も家にいないので声高には言えませんが ◆休耕地の増加 →主に耕作するのに困難な場所 ◆白井の果物農地と公園の整備 →きれいな空気と安心できるまちをつくるため ◆農業地域と団地地域の交流を！

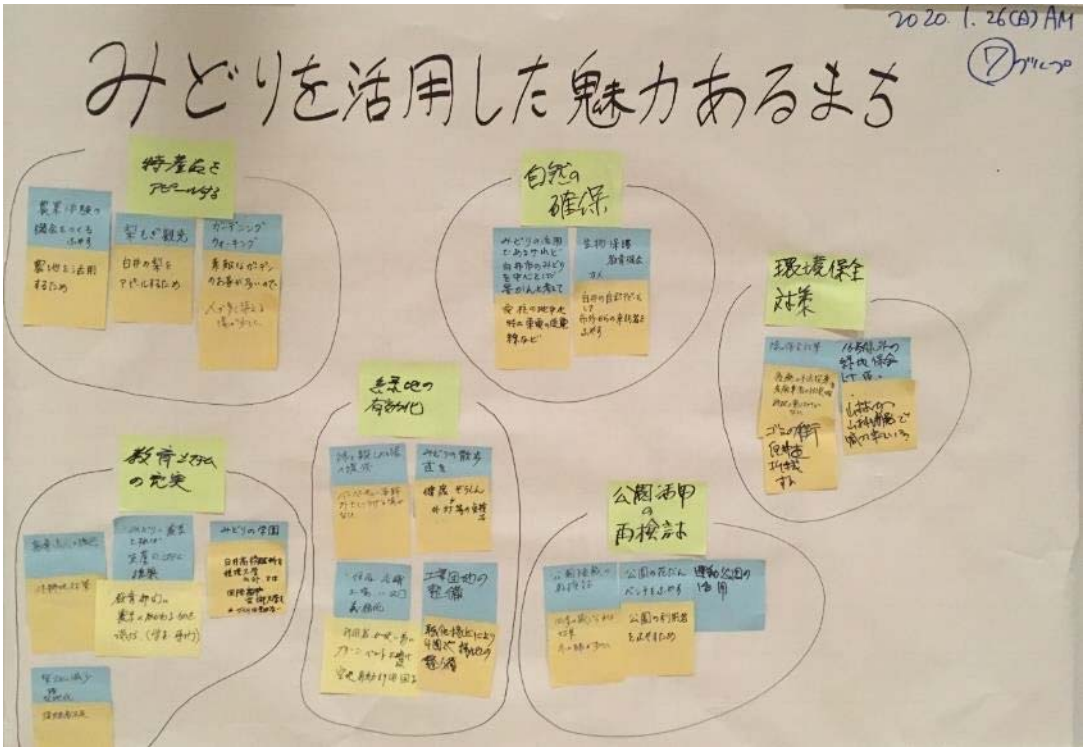
≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター



みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【白井の名所である桜を維持する】 ◆さくら並木を保全する →町の名所として定住につながる ◆桜並木を整備する →白井市の名所であり、市民の春の楽しみであるので（枝が折れていたり朽ちていたりすると心配） ◆花見（桜）のできる場所を増やす →総合公園にももう少し植樹してもよいのでは
【町の緑化運動】 ◆各住居でみどりを育て、守る →みどりへの意識を高め、住みよい街にする
【梨の後継者を育てるための学校（？）をつくる】 ◆なしの後継者をつくる →産業の衰退を防ぐ ◆農地の維持を図る →すばらしい財産である梨園等の農地を維持する ◆白井市でつくられている農作物を用いたコンテストや試食会を開く →食に興味を持つきっかけになるから ◆新人の農業参入を図る（土地借用制度？）

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【遊歩道の維持　ボランティアを募る】 ◆緑道を保全する →歩きを推奨し、健康につなげる ◆道路脇の草木の手入れがなされていない →経費はかかるが住み良い街づくりのためには必要ではないか ◆遊歩道や散歩道の整備。 →ランニングする人や散歩をする人が増え、市民の健康につながるから
【里山公園の維持はできている】 ◆公園の活性化を図る →子供が安全に遊べ、市民の憩いの場を守るため ◆公園や調整区域以外のどっちつかずの区域が多い →街の緑化にもメリハリが必要 ◆里山を保全

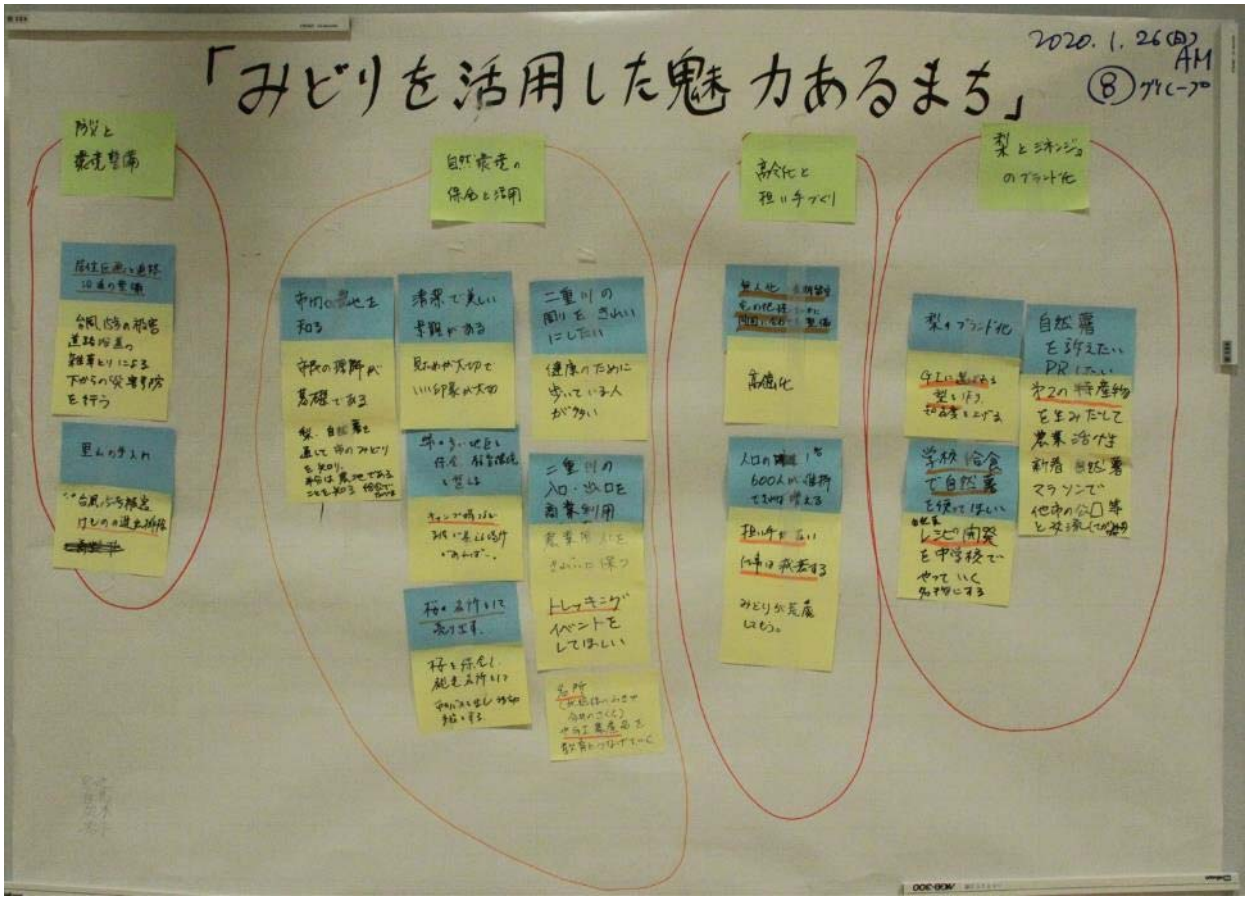
≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター



みどりを活用した魅力あるまち
◆「実現するために重要なこと」 →その理由
【特産品をアピールする】 ◆農業体験の機会をつくる　増やす →農地を活用するため ◆梨もぎ観光 →白井の梨をアピールするため ◆ガーデニング　ウォーキング →素敵なガーデンのお家が多いので →人が多く集える場が欲しい
【自然の確保】 ◆みどりの活用であるけれど白井市のみどりを中心とした景観と考えて →電柱の地中化　特に東電の送電線など ◆生物保護　教育機会 →白井の自然アピールをして市外からの来訪者を増やす

みどりを活用した魅力あるまち
◆「実現するために重要なこと」 →その理由
【環境保全対策】 ◆緑の保全対策 →産廃の不法投棄　産廃業者の拠点 →ゴミの街白井を払拭する ◆16 号線外の緑地保全計画 →山林が山材開発で減って来ている
【教育の充実】 ◆農業法人の振興 →休耕地対策 ◆みどり＝農業とすれば産業のシステム構築 →教育機関に農業にかかわるものを設ける（学業・専門） ◆みどりの学園 →白井高校園芸科を税理大学の外、又は国際芸術大学を ◆梨畑の減少　宅地化 →後継者不足
【緑地の有効化】 ◆緑と親しめる場の提供 →バーベキューなど野外でくつろげる場がない ◆みどりの散歩道を →健康増進→外灯等などの点検など ◆住宅・店舗・工場に公園義務化 →利用者が使いやすいグリーンベルトを設け空地有効利用図る ◆工業団地の整備 →職住近接により公園や緑地の整備
【公園活用の再検討】 ◆公園植栽の再検討 →四季の感じられる対策 冬の緑が少ない ◆公園の花壇　ベンチを増やす →公園の利用者を増やすため ◆運動公園の活用

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター　【８班】



みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【梨と自然薯のブランド化】 ◆自然薯を PR したい →第２の特産物を生み出して農業活性 新春自然薯マラソンで、他市の公園等と交流（手賀沼等） ◆梨のブランド化 →GI に選ばれる梨をつくり、知名度を上げる ◆学校給食で自然薯を使ってほしい →自然薯レシピ開発を中学校でやっていく　名物にする
【高齢化と担い手づくり】 ◆無人化・長期留守宅の把握をいかに周囲に合わせた整備 →高齢化 ◆人口の１％（600 人）が維持できれば増える →担い手がない仕事は減衰する みどりが荒廃してしまう
【自然環境の保全と活用】 ◆二重川の周りをきれいにしたい →健康のために歩いている人が多い

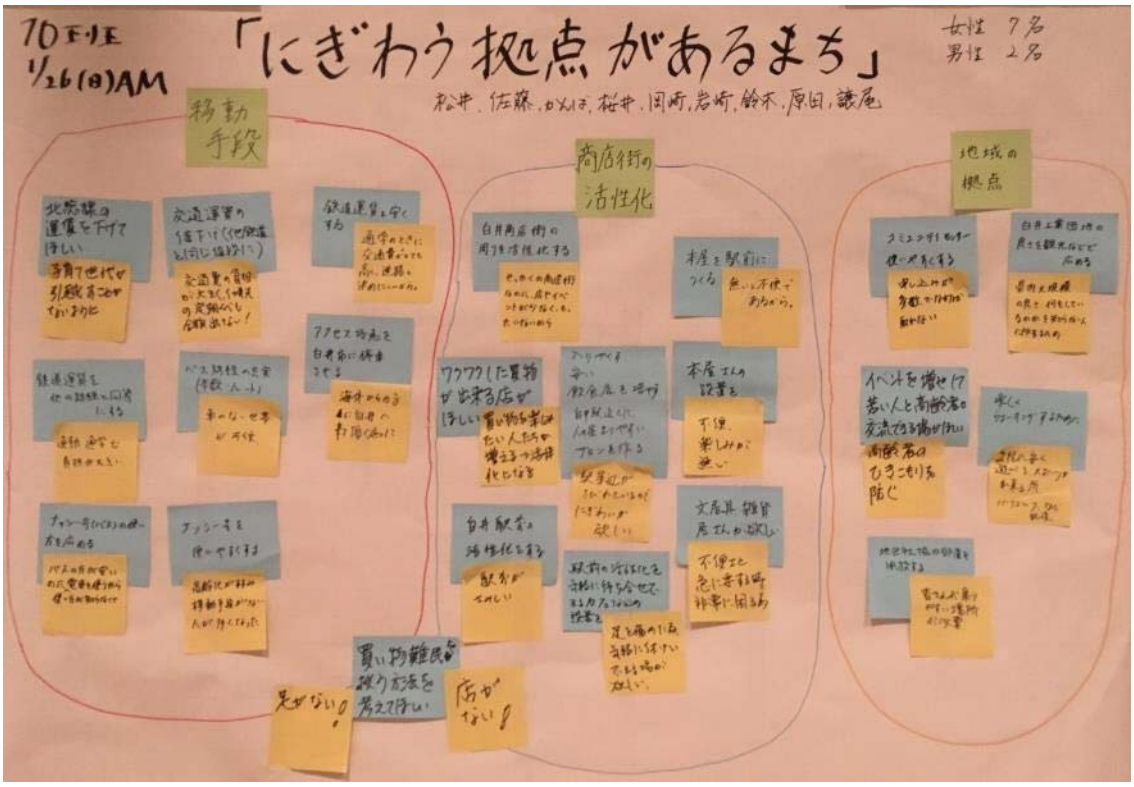
みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
◆二重川の入口・出口を商業利用 →農業用水をきれいに保つ トレッキングイベントをしてほしい 名所（北総線の脇や、今井の桜）やGI農産品を教育とつなげていく ◆清潔で美しい景観がある →見た目が大切で、よい印象が大切 ◆みどりの多い地区を保全、教育環境を整える →キャンプ場など、子供が集える場所があればよい ◆桜の名所として売り出す →桜を保全し、観光名所として、市のバスを出し移動手段とする ◆市内の農地を知る →市民の理解が基礎である 梨・自然薯を通して市のみどりを知り、半分は農地であることを知る 給食で食べる
【防災と環境整備】 ◆居住区画と道路沿道の整備 →台風15号の被害 道路沿道の雑草取りによる、下からの災害予防を行う ◆里山の手入れ →台風15号被害 けものの進出排除

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター　【９班】

にぎわう拠点があるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【施設を増やす】 ◆アウトレットやショッピングセンターをつくる →白井の宣伝になるようなものがあったほうがよいと思う ◆運動公園をもっと整備し、活用する →陸上競技場や野球場を整備し、スポーツ誘致できるよう、人を呼べるようにする ◆にぎわうイベントを増やす →人を呼び込める　活性化につながる ◆体育館の設立 →休日も室内スポーツを楽しみたい ◆「農」と「人」をつなぐ場所 →農業＝農家がするものではなく、市民全体で盛り上げる ◆もっと白井市を宣伝してほしい ◆総合公園はすごくよいところ　もっとＰＲを ◆白井市に関わる全ての人が誇りに思えるもの、場所をつくる
【駅前のにぎわい】 ◆気軽に出入りできるコーヒーショップ等 →若者との交流の場をつくる

にぎわう拠点があるまち
◆実現するために重要なこと **→その理由**
◆駅前にコンビニがほしい →駅を朝早く利用する人が、周りの施設が開いていなくて不便だと思う 学生が登校する時間にスーパーが開いていないため ◆駅周辺に飲食店を増やす ◆駅周辺でつぶれる店があるのはなぜか？ ◆駅前の開発　西白井駅の陸橋を白井駅のように整備してほしい →駅のまわりの路面のタイルがすべる ◆白井市のメインの駅である白井駅をもっと明るく ◆白井駅前をにぎやかに ◆駅前周辺でイベントを →白井のよいところをアピールする
【電車・バス】 ◆バスの運賃・北総線の電車賃が高い ◆バスの本数を増やす →平日の昼間の時間帯を増やしてほしい

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター



にぎわう拠点があるまち
◆「実現するために重要なこと」 →その理由

【移動手段】

◆北総線の運賃を下げてほしい

→子育て世代が引越すことがないように

◆交通運賃の値下げ（他鉄道と同じ値段に）

→交通費の負担が大きく、仕事先の定期代も全額出ない！

◆鉄道運賃を安くする

→通学の時に交通費がとても高く、進路を決めにくいから

◆鉄道運賃を他の路線と同等にする

→通勤・通学で負担が大きい

◆バス路線の充実（本数・ルート）

→車のない世帯が不便

◆アクセス特急を白井市に停車させる

→海外からの方に白井へ来て頂く為に

◆ナッシー号（バス）の使い方を広める

→バスの方が安いのに、使い方が知らなくて電車を使うから

◆ナッシー号を使いやすくする

→高齢化が進み移動手段がない人が多くなった

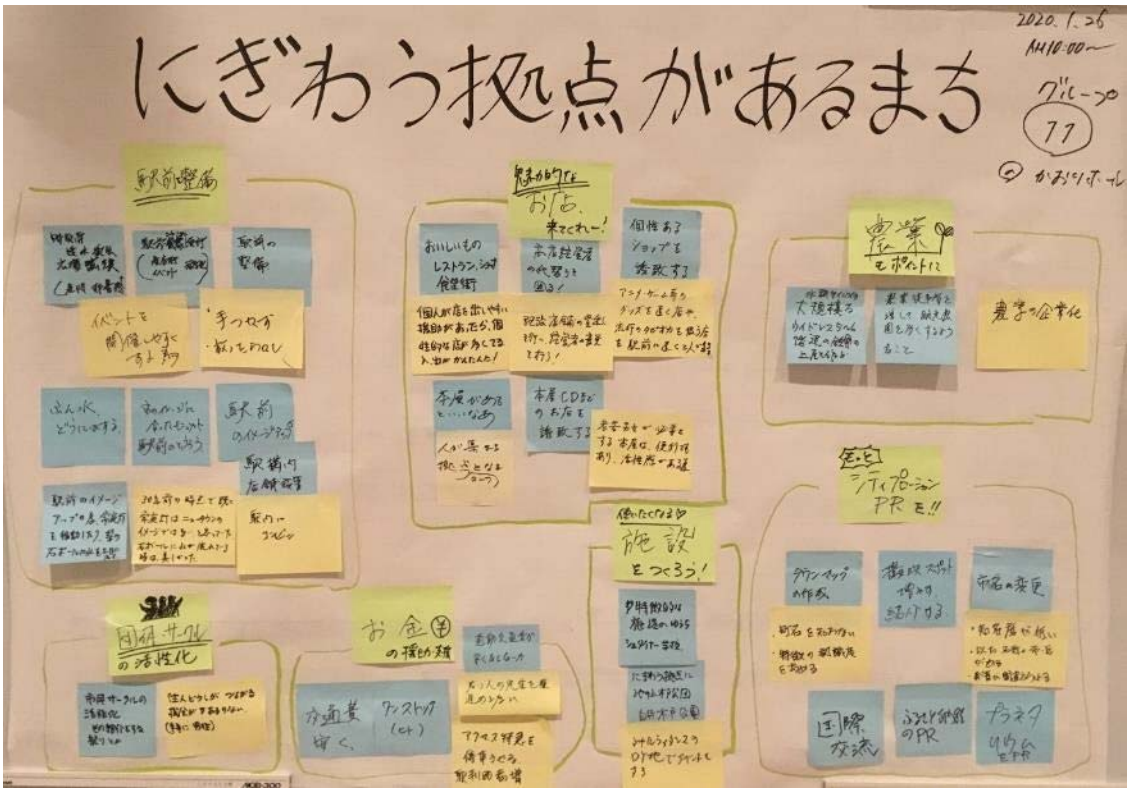
【商店街の活性化】

◆白井商店街の周りを活性化する
　→せっかくの商店街なのに、店やイベントが少なく、もったいないから
◆本屋を駅前につくる
　→無いと不便であるから
◆ワクワクした買い物が出来る店がほしい
　→買い物を楽しみたい人たちが増える→活性化になる
◆入りやすく安い飲食店を増やす
　白井駅近くに、人の集まりやすいサロンを作る
　→駅周辺がさびれているのでにぎわいが欲しい
◆本屋さんの設置を
　→不便。楽しみが無い
◆白井駅前の活性化をする
　→駅前がさみしい
◆駅前の活性化を気軽に待ち合わせできるカフェなどの設置を
　→足を痛めたため、気軽に休憩できる場が欲しい
◆文房具、雑貨屋さんが欲しい
　→不便さと急に要する時非常に困るため
◆買い物難民を救う方法を考えてほしい
　→足がない！
　→店がない！

【地域の拠点】

◆コミュニティセンター使いやすくする
　→申し込みが多数でなかなか取れない
◆白井工業団地の良さを観光などで広める
　→県内大規模の良さ、何をしているのかを知らない人に PR するため
◆イベントを増やして若い人と高齢者も交流できる場がほしい
　→高齢者の引きこもりを防ぐ
◆地区社協の部屋を開放する
　→皆さんが集まりやすい場所が必要

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター



にぎわう拠点があるまち
◆「実現するために重要なこと」 →その理由
【駅前整備】 ◆白井駅南 噴水撤去　広場拡張 ◆駅前公衆便所（商店街　イベント　活性化） →イベントを開催しやすくするため ◆駅前の整備 →・手つかず ・放ったらかし ◆噴水どうにかする ◆市のイメージに合ったモニュメント　駅前の灯篭 ◆駅前のイメージアップ ◆駅前のイメージアップのため、常夜灯を移動したり、梨の石ボールに水を土日に流す →30 年前の時点で既に常夜灯はニュータウンのイメージではないと思っていた。石ボールに水が流れている時は美しかった →駅内にコンビニ
【魅力的なお店、来てくれー！】 ◆おいしいもの　レストラン、ショップ、食堂街 →個人が店を出しやすい援助をしたら、個性的あったら、個性的な店が多くでる。入出が簡単に！

◆高店後継者の代替りを図る！
　→既設店舗の貸出しを行い、経営者の変更を行う！
◆個性あるショップを誘致する
　→アニメ・ゲームなどのグッズを置く店や、流行のタピオカを扱う店を駅前に置くと人が集まる
◆本屋があるといいなあ
　→人が集まる拠点の一つとなる
◆本屋・CD などのお店を誘致する
　→老若男女が必要とする本屋は、便利でもあり、活性感があるため

【農業もポイントに】
◆水耕栽培の大規模なウィンドレス 5～6 階の鉄骨の上屋を作る
◆農業従業者を増して、観光農園を多くするようなこと
　→農業の企業家

【団体・サークルの活性化】
◆市民サークルの活性化、その紹介をする祭りとか
　→住人同士がつながる機会があまりない（特に男性）

【お金の援助・支援】
◆交通費安く
◆ワンストップ（ヒト）
◆通勤交通者が安くならないか
　→若い人の定住を進めるために
　→アクセス特急を停車させる。駅利用者増

【使いたくなる施設をつくろう！】
◆特徴的な施設の誘致　シュタイナー学校
◆にぎわう拠点に池の上木戸公園　白井木戸公園
　→シャル・ウィ・ダンスのロケ地でイベントをする

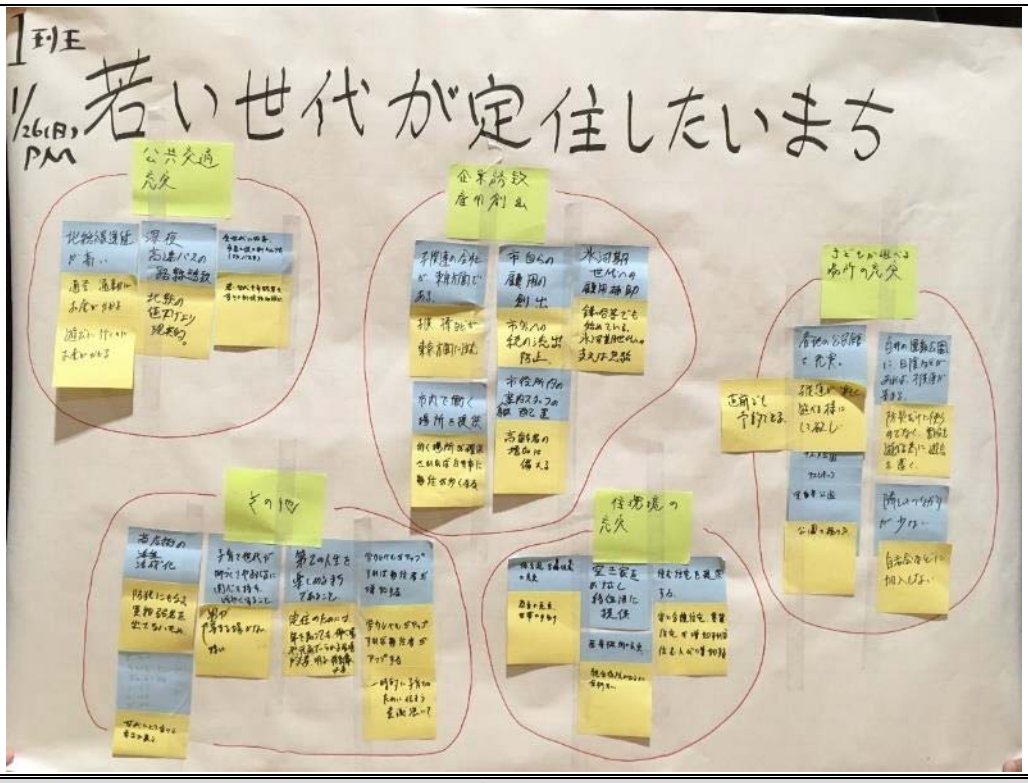
【もっとシティプローション PR を！】
◆タウンマップの作成
　→・町名を知らない
　　・特徴の認識度を高める
◆撮影スポット増やす、紹介する
◆市名の変更
　→・知名度が低い
　　・似た名称の市・町がある
　　・発音が間違えられる
◆国際交流
◆ふるさと納税の PR
◆プラネタリウムを PR

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午前　文化センター　【12 班】

にぎわう拠点があるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【地域的】 ◆自治会等近所を大切に　交流の場をつくりたい ◆光の街 →白井市は全体的に暗い！防犯面等も含めて ◆空き家対策 →成田空港の滑走路問題　人工（交通） ◆市と意見を交換　今日のような催しを大切にしたい ◆高い建物は建てない →高い建物は風が起こり危ない
【行政ができること】 ◆街の中を公共のバスをもっとまめに走らせる →車が使用できなくなったときに出掛けやすくなる PR（特に海外）　SNS の活用　インスタ映え ◆歩道に休めるベンチを置く →高齢になって長く歩けない時にちょっと休める ◆駅の近くにもう少し人が集えるところがほしい →友達との待ち合わせもするところが少ない

にぎわう拠点があるまち
◆実現するために重要なこと 　→その理由
【民間の協力が必要】 ◆インキュベーターラボを設ける ◆桜台の年金施設の活用（ホテル等） ◆体育館がない ◆スポーツ施設の建設 ◆テーマパーク 　→にぎわう街づくり ◆学園都市 　→人が集まること ◆市内（駅前等）に公共 Wi-Fi を設ける 　→若い人、関連する人が来訪する街
【商業・駅前活性（店・サービス）】 ◆老人１人でも行くことができるところが必要 　→１人カラオケがしたいからボックスがほしい ◆商店街がさみしすぎる 　→ニーズがないと思うがおしゃれな店がほしい ◆年をとった方や障害をもった方等、弱者を大切にした集いがほしい ◆みんなでモーニング 　→１人で行けて友達になれる ◆カフェや軽食のとれる店をつくる 　→人々の会話は必要　地域内外の人がたむろする場 ◆人が集まるところ（ショッピングモール・病院）で楽しめる場所 　→目だけでも楽しめるかな ◆書店を設ける 　→文化的にも、生活者の楽しみにも必要　must ◆市役所周辺の活性化 ◆拠点をつくる？決める ◆マルエツビルの再開発 ◆北口ロータリー前の店の開発 ◆駅前に食事ができる店を多くつくる 　→多くの店ができればそれだけ選べる　人が集まる ◆白井駅・西白井駅等の駅前の活性化 ◆白井駅前交番の建て替え 　→駅前の顔 ◆駅前の店の集約 　→駅前は駅・バスの場のみ

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午後　複合センター



若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【公共交通】 ◆北総線運賃が高い →通学・通勤にお金がかかる →遊びに行くのにお金がかかる ◆深夜路線バスの路線誘致 →北総の値下げより現実的 ◆全世代に必要。交通の利便性。（JR、バス停） →若い世代も年配者も、受ける利便性は同じ
【企業誘致　雇用創出】 ◆子供達の会社が東京方面である →子供・孫などが東京方面に住む ◆市自らの雇用の創出 →市外への税の流出防止 ◆氷河期世代への雇用補助 →鎌ケ谷などでも始めている。氷河期世代への支えは急務 ◆市内で働く場所を提供 →働く場所が確保されれば白井市に移住が多くなる ◆市役所内の侍従案内スタッフの配置 →高齢者の増加に備える

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【子どもが遊べる場所の充実】 ◆各地の公民館を充実 →子供達が楽しく遊べる様にして欲しい →直前でも予約できる ◆白井の運動公園に、日陰などがあれば、子供達が集まる →防災だけに使うのではなく、普段も遊べるために遊具を置く ◆中木戸公園　アスレチック　児童公園 →公園の在り方 ◆隣とのつながりが少ない →自治会などに加入しない
【住環境の充実】 ◆保育園、学費・保育の充実 →教育の充実、世帯の手助け ◆空き家をお試し移住用に提供 ◆医療機関の充実 →総合病院あるが、全科ない ◆住む住宅を提供する →安い分譲住宅、賃貸住宅が増加すれば住む人が増加する
【その他】 ◆商店街の活性化 →防犯にもなる。買い物弱者を出さないため ◆子育て世代が町づくりや政治に関心を持ち、活躍すること →特に男が集まる場がない ◆第２の人生を楽しめるまちであること →定住のためには、年を取っても働く場や、元気でいられる環境が必要。明るい将来像必要。 ◆学力レベルがアップすれば移住者が増加する →学力レベルがアップすれば移住者がアップする。一時的に子育てのために住まう意識強い？ ◆若い世代　年齢によって →世代によって受ける要求が異なる

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午後　複合センター

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由

【環境をさらに良くしてアピールする】

◆住環境がよいことを PR する。

◆よい環境をアピールする

　→若い人小さい子供のいる人に住んでほしい

◆災害に強い街をアピール

◆お試し期間のお家　賃貸する

　→若い人に住む体験をしてもらうため

◆ボール遊びができる場所（小学校の校庭を開放など）

　→子供の居場所づくり

　→校庭・公園の開放

◆子供が安心して過ごせる場所がほしい。保育所など

　→若い人の住みやすさ

　　子育て環境

◆２世帯の住める空き家紹介

　→空き家の斡旋

◆公園で遊ぶ子供が少ない

　→遊ぶ施設を作る

◆救急病院をつくる

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【交通手段の改善　運賃・終電延長】 ◆運賃を下げる →通勤しやすさ 働きやすさ ◆交通手段がある →白井市民の特権がほしい ◆休日もバスを運行する →家族と休日などを楽しく過ごす機会が少ない ◆東京都内にもっと簡単に出られるようにする →若い人は都内に簡単に出られることを魅力に思うから ◆金曜の夜だけ臨時便を！
【子育て世代も家族で楽しむ場を作る】 ◆柏レイソルの選手を呼んでサッカー教室 →家族皆で楽しめるように ◆子どもだけでなく、母親も楽しめる場所 託児所付き公共施設 →幼稚園・保育園児の朝の預かり ◆おおたかの森のようにおしゃれな区域をつくる ◆競馬学校の PR、有効活用 ◆駅近に保育園
【働く環境】 ◆土日だけ農業 キャンプ体験 サラリーマン農業 ◆農業と企業をコラボさせる ◆小さな企業を支援する 農業の会社づくり ◆テレワークができる拠点 →女性の働きやすさ ◆若い人を呼び込める産業を作る →若い母親でも少し動ける場が必要 →幹線沿いに大型商業施設を →外国人を受けいれ

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午後　複合センター

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【工業団地の利便性向上】 ◆工業団地に託児所をつくる →子育てを楽にするため ◆工業団地を市民に知ってもらう →若い方の働く場所を確保するため →市民に工業団地に何があるか知ってもらう 地図や模型を駅前、市役所に置く ◆工業団地にナッシー号をもっと走らせて、気軽に行けるようにする →工業団地に遊べて休める大きな施設を作る →太い幹線道路を作る。８車線ぐらいインフラは広くとる ◆保育の受け入れ 体制の強化 →若い人たちが子どもを預けて安心して働ける環境をつくる →若い家族が住みやすくするため ◆中小企業支援策をどんどん進める
【文化振興】 ◆SNS で白井の魅力を発信していく →現在の若者は SNS（ツイッター、インスタグラム、Youtube）を活用している ◆旅行社のバスツアーが西白井発が出るように ◆文化会館で楽しい催しものをもっとやりたい ◆住み良い街を造る →住み良さランキングを上げる→快適度は上げやすい　歩道整備など

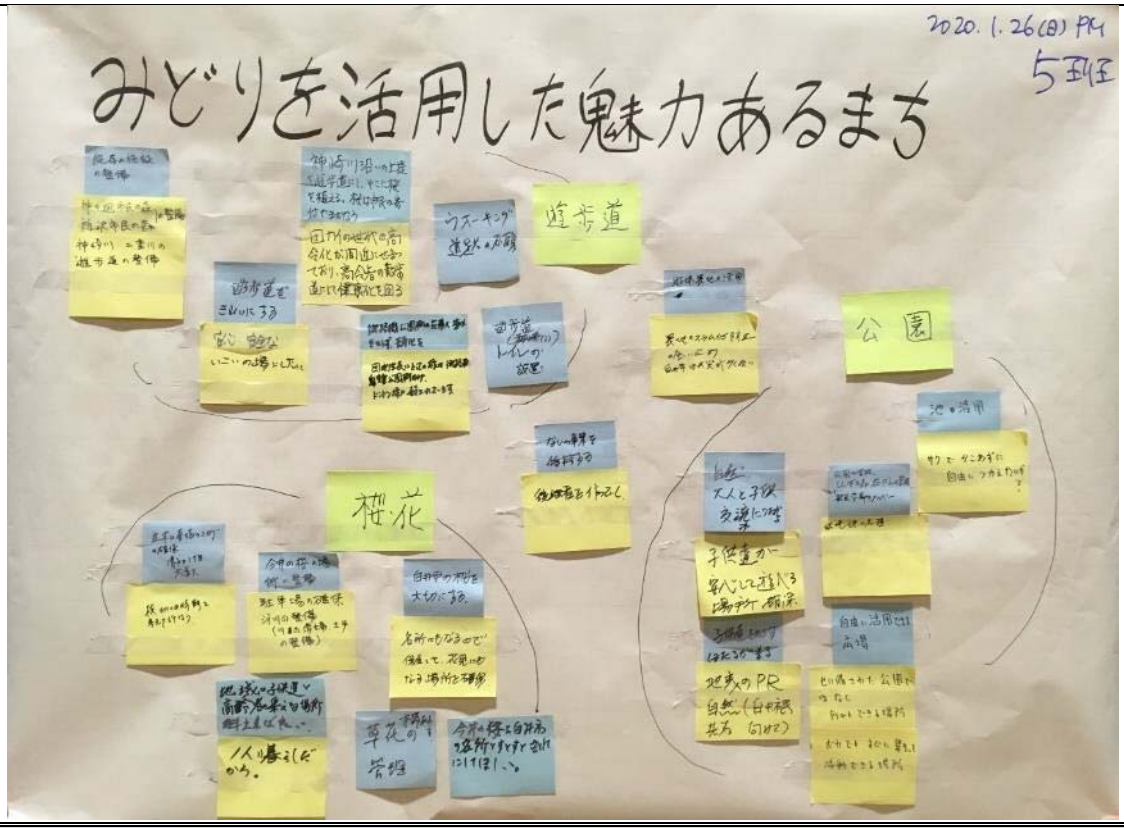
若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
◆文化的な施設が身近に欲しい ◆アーティストの誘致 →街として盛り上がれる機会を作る 例：茨城、ロックインジャパン
【住みやすい街】 ◆暮らし続けられる街を造る →外部に需要と供給をたよらない ◆大型商業施設で集客する →全体的に本屋など日常生活に必要なものを揃える場所が少ない。 ◆安心のある市にする →就職先の斡旋を強く行う 白井市内で働く市民に手厚くする ◆飲食店を増やす →若い世代が憩うスペースが必要 ◆公園や小さい子が遊べる場をつくる →歩いて移動しやすくするために、歩道幅を広げる　外出する機会が増える
【働く場所をつくる！】 ◆起業するきっかけを作るセミナーをやる ◆起業率を上げる仕組みに取り組む ◆白井高校から企業家を輩出させる仕組みを取り入れる ◆雇用の創出 →働く場が無いと若い人が出て行ってしまう
【交通】 ◆数少ない交通の要衡を活かす。464 号 16 号 →分かりやすく通行しやすい道路、歩道に造り変える →交差路をターミナルや入り口に使う →柏まで行くバスを作る。JR まで行けるバス

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午後　複合センター

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【農業・農園したい人向けのアクション】 ◆耕作放地にクラインガルテンを作る →都心の人を呼び込めるから ◆市民農園を市街地に近いところにたくさん作る →地権者を支援する仕組み作り（市の条例）税金 etc. ◆梨農園の廃業を減らす →跡取りがいない ◆空き地の利用 農業体験などの勧め
【自然に触れるためのアクション】 ◆生物多様性を大切にした公園・緑地づくり →SDG s の観点で生態系サービスを得るには生物多様性が必要 ◆ひまわり迷路 →・野菜作りの進め、健康的 ・お花を作る　それにより蝶が群れ飛び学習の場に ◆遊べる公園があると良い ・花畑　・池　・ベンチ ◆体験型公園を作る ◆自然に触れる（動物・植物）

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
◆芝桜 →子供達に自然の素晴らしさを感じてもらう
【里地・里山・里川を保全するアクション】 ◆河川の両側に木を植え、景観を良くする ◆企業に森を協参してもらう →お金がないから ◆森や林を残してほしい →相続により森や林がなくなる →太陽光バツグンの場所 →都市景観が悪くなっている ◆里山景観を守る →里山景観条例をつくってほしい →休耕地が広がり荒廃が進んでいる ◆今ある市内の森林、田畑、緑地を残したい →近隣住民は、それらから多くのサービスを得ることができる。（生態系サービス）
【グループのまとめ（結論）みどりをトータルコーディネートする市役所内組織を！】 ◆里山グリーンインフラを総合する里山センターを設置する →点在するみどりの場所は今、それぞれの市民が汗をかいて保っているが、これらを市のみどりの財産として俯瞰して計画をたてるシステムが必要 →団体に入らずともみどりのために参加できる市民を巻き込むことができる →資金や機材の貸し出し、ストックの場所が提供できる ◆みどりを活用した総合部所を市の中に入れてほしい。（窓口と実施） →（ボラ連）里山ハローワークの設置

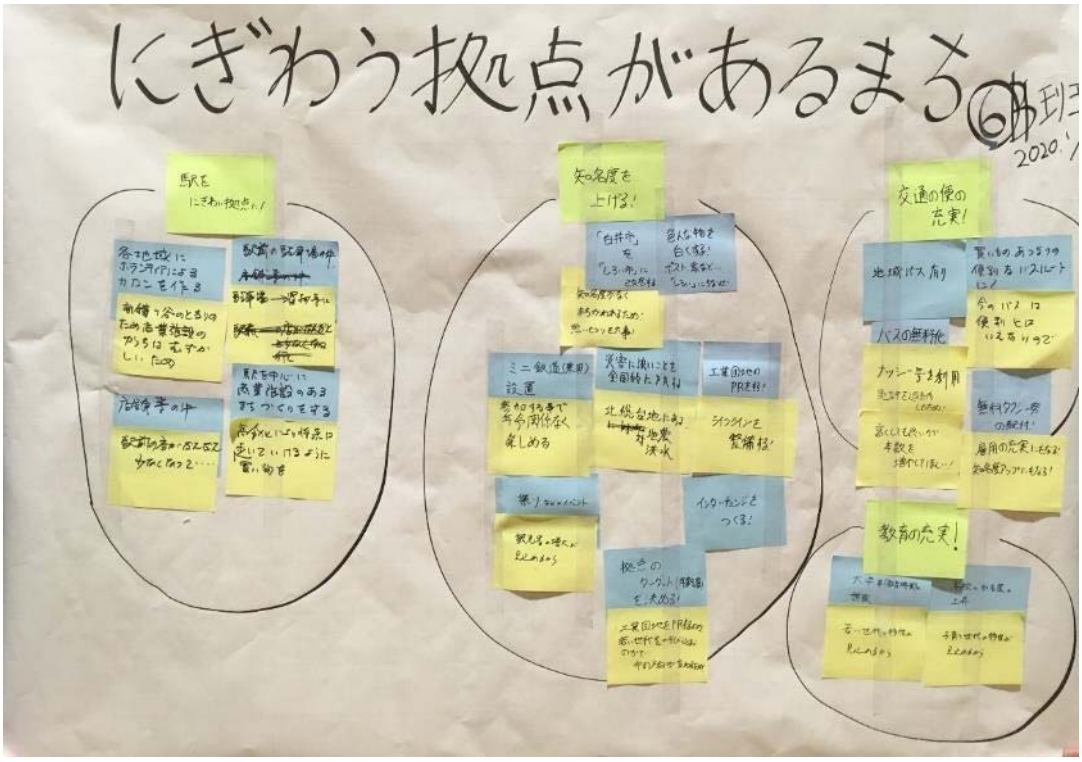
≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午後　複合センター



みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと 　→その理由
【遊歩道】 ◆既存の施設の整備 　→神々廻市民の森・所沢市民の森の整備 　　神崎川・二重川の遊歩道の整備 ◆神崎川沿いの土堤を遊歩道にし、そこに桜を植える。桜は市民の寄付で賄う 　→団塊の世代の高齢化が間近に迫っており、高齢者の散歩道にして健康化を図る ◆ウォーキング道路 ◆遊歩道をきれいにする 　→安心・安全な憩いの場にしたい ◆街路樹公園樹の花や芽を切らず、長寿化を 　→団地住民にとっての緑は街路樹公園樹のみ。 ◆遊歩道（神崎川）トイレの設置
【公園】 ◆自然 　大人と子供交流につながる 　→子供達が安心して遊べる場所確保 ◆公園の管理 　神々廻の森

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと **→その理由**
花壇の管理 白井発見学部のメンバー →環境課の応援 ◆池の活用 →柵で囲わずに自由に使えないか？ ◆子供達をめざす。蛍が来る →地域の PR 自然（白井市民共有　向けて） ◆自由に活用できる広場 →整備された公園ではなく何でもできる場所 →誰でもすぐに集まって活動できる場所
【桜・花】 ◆並木の夏場の木陰の確保 清水口１丁目大通り →枝切りの時期を考えて行う ◆今井の桜の場所の整備 →駐車場の確保 河川の整備（川の清掃・土手の整備） ◆白井市の桜を大切にする →名所にもなるので保全して、花見にもなる場所を確保 ◆地域の子供達、高齢者の集える場所出来れば良い →１人暮らしだから ◆草花の管理 ◆今井の桜は白井市の名所としてきれいにしてほしい
◆遊休農地への活用 →農地のスラム化防止 食い止め 白井市は天災が少ない ◆梨の事業を維持する →後継者を作っていく

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午後　複合センター



にぎわう拠点があるまち

◆「実現するために重要なこと」
　→その理由

【駅をにぎわい拠点に！】

◆各地域にボランティアによるサロンを作る
　→新鎌ケ谷のとなりのため商業施設の誘致は難しいため
◆駅前の駐車場の中
　→駐車場→買い物などに
◆店舗などの件
　→駅前の店がだんだん少なくなって…
◆駅を中心に商業施設のあるまちづくりをする
　→高齢化により将来は買い物を歩いて行けるように

【知名度を上げる！】

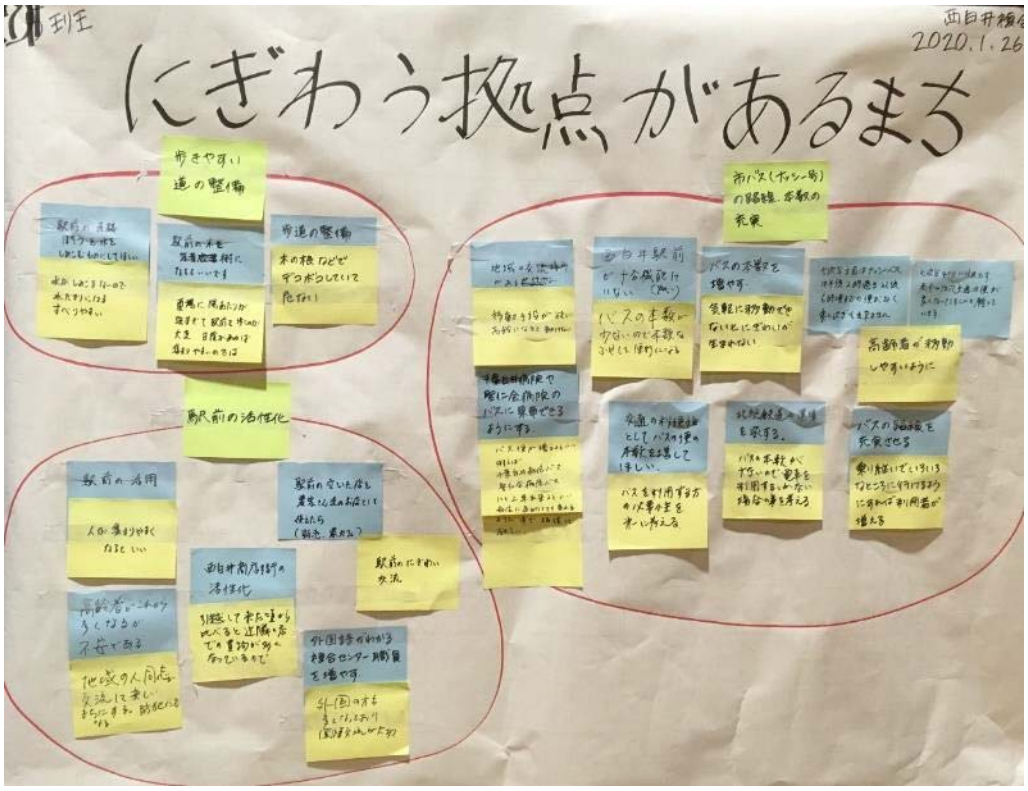
◆「白井市」を「しろい市」に改名する
◆色んな物を白くする！ポスト、家など…「しろい」にちなんで
　→知名度がなく間違われるため！思い切りも大事！
◆ミニ鉄道（乗用）設置
　→参加する事で年齢関係なく楽しめる
◆災害に強いことを全国的に PR する
　→北総台地にある対地震・洪水
◆工業団地の PR をする！
　→ライフラインを整備する！

◆祭りなどのイベント
　→観光客の増大が見込めるから
◆インターチェンジをつくる！
◆拠点のターゲット（年齢層）を決める！
　→工業団地を PR するのか若い世代を呼び込むのかで市の方向が変わるため！

【交通の便の充実！】
◆地域バス有り
　バスの無料化
　→ナッシー号を利用
　　免許を返納したため！
　→高くしても良いから本数を増やしてほしい！
◆買い物、集まりの便利なバスルートに！
　→今のバスは便利とは言えないので
◆無料タクシー券の配布！
　→雇用の充実にもなる！知名度アップにもなる！

【教育の充実！】
◆大学（教育機関）の誘致
　→若い世代の移住が見込めるから
◆高校の知名度の上昇
　→子育て世代の移住が見込めるから

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午後　複合センター



にぎわう拠点があるまち
◆「実現するために重要なこと」 →その理由
【歩きやすい道の整備】 ◆駅前の通路舗装を 水をしみこむものにしてほしい →水がしみこまないので水たまりになる　すべりやすい ◆駅前の木が落葉樹になるといいです →夏場に陽当りが強すぎて駅前を歩くのが大変。日影があれば集まりやすいのでは ◆歩道の整備 →木の根などでデコボコしていて危ない
【市バス（ナッシー号）の路線・本数の充実】 ◆地域の交流場所があるが行けない →移動手段が欲しい。高齢になると動けない ◆西白井駅前が十分機能していない（中心） →バスの本数が少ないので本数を増やして便利になる ◆バスの本数を増やす →気軽に移動できないとにぎわいが生まれない ◆七次台方面はナッシーバスは午後２時過ぎ以後６時頃までの便がなく乗り継ぎも出来ません ◆七次台４丁目の住民です 高齢になって、交通の便が良くなってほしいと願っています

→高齢者が移動しやすいように
◆千葉白井病院や聖仁会病院のバスに乗車できるようにする
→バス便が増えるといい。例えば千葉白井病院バス・聖仁会病院バスにも乗車出来るといい
病院に通わなくても乗れるように市で相談してほしい
◆交通の利便性としてバスの便の本数を増してほしい
→バスを利用する方の必要性を第一に考える
◆北総鉄道の運賃を安くする
→バスの本数が少ないので電車を利用するしかない場合の事を考える
◆バスの路線を充実させる
→乗り継いでいろいろなところに行けるようにすれば利用者が増える

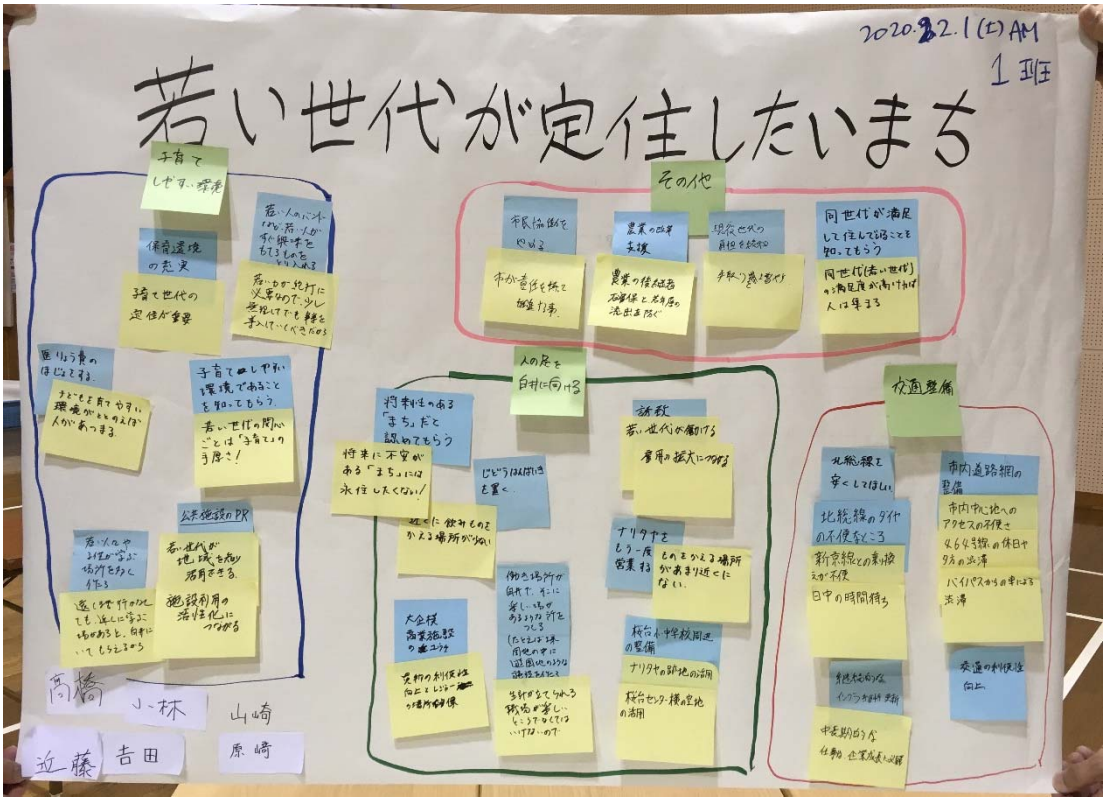
【駅前の活性化】
◆駅前の利用
→人が集まりやすくなるといい
◆駅前の空いた店を農家さん達のお店として使えたら（販売・農カフェ）
→駅前のにぎわい交流
◆高齢者がこれから多くなるが不安である
→地域の人同士が交流して楽しいまちにする。防犯にもなる
◆西白井商店街の活性化
→引越して来た頃から比べると近隣の店での買い物が多くなっているので
◆外国語がわかる
複合センター職員を増やす
→外国の方も多くなっており国際交流が大切

≪ワークショップの結果≫　2020 年 1 月 26 日（日）午後　複合センター

にぎわう拠点があるまち
◆「実現するために重要なこと」 →その理由
【商業施設】 ◆魅力のある行きたいと思わせる商業施設を作る →市外からも人を集めたいから ◆ふっと立ち寄れる店舗をつくる ◆市で店舗誘致を支援する →若い希望者を外から呼び込む ◆ものづくりを支援してくれる販売の機会提供 →横のつながりの創出
【既存資源・施設の活用】 ◆広報 PR の強化 →情報格差 ◆各センターでのイベントの企画
【（生活）環境】 ◆騒音対策　下総基地 ◆景観　保護されていない →快適な生活が送れない

【西白井駅前の活性化】 ◆西白井駅前ロータリーの活用（ゼブラゾーン） 　→駅　送迎の利便性向上 　→買い物の利便性 　→迷惑駐車の防止 ◆店舗の賃料を低くして借りやすくしてほしい 　→空店舗の有効利用 ◆産地野菜販売店 ◆空店舗をなくしてほしい 　→駅前のにぎわいがほしい ◆駅前でイベントを多く実施する 　→人を集めてにぎやかにしていきたいから
【公共交通の整備】 ◆バスの本数の増加 　→高齢者の足になる 　　重要な交通手段だから ◆地区の実情に応じた施策 　→高齢者の多い地区での交通手段確保 ◆バスルートの見直し（ナッシー号） 　→利用されていない時がある 　　利用されるように見直しを！ ◆電車賃は高いけど便利です

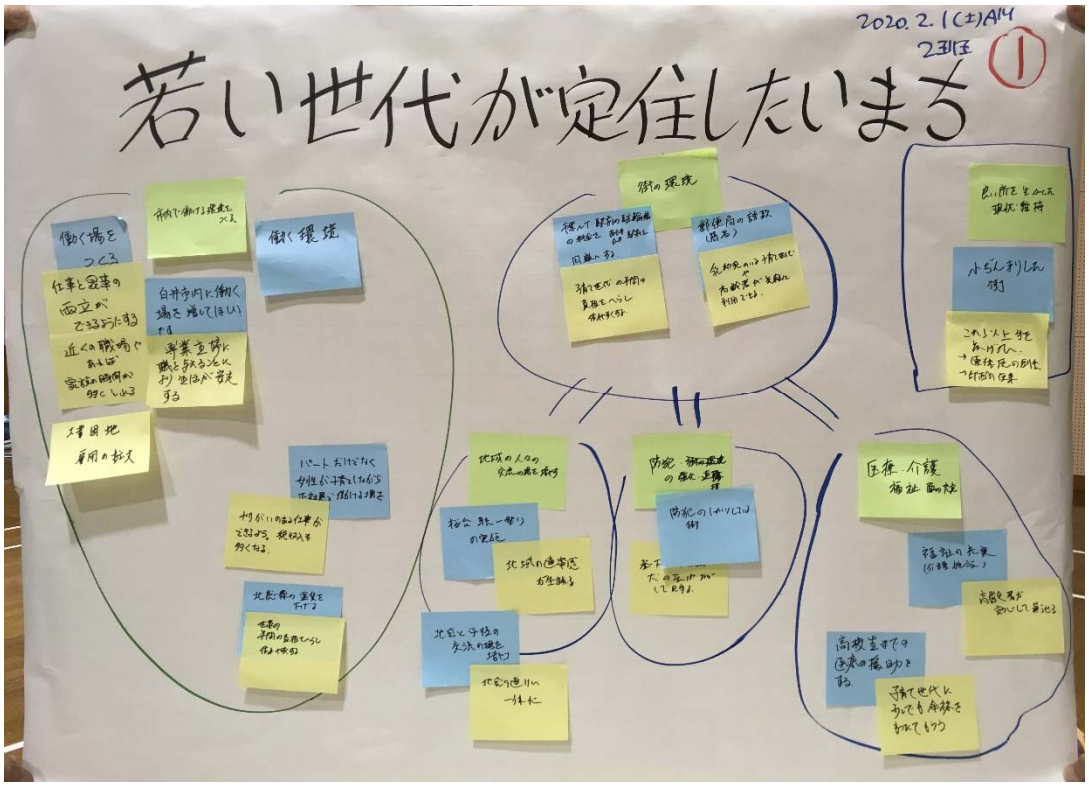
≪ワークショップの結果≫　2020 年 2 月 1 日（土）午前　桜台センター　【1 班】



若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【交通整備】 ◆市内道路網の整備 →市内中心地へのアクセスの不便さ →464 号線の休日や夕方の渋滞 →バイパスからの車による渋滞 ◆北総線を安くしてほしい　北総線のダイヤの不便なところ →新京成線との乗り換えが不便 →日中の時間待ち ◆交通の利便性向上 ◆継続的なインフラ維持更新 →長期的な仕事は、企業成長に必要
【子育てしやすい環境】 ◆若い人のバンドなど、若い人がすぐ興味を持てるものを取り入れる →若い力が絶対に必要なので、少し無理してでも事業を導入していくべきだから ◆保育環境の充実 →子育て世代の定住が重要 ◆子育てしやすい環境であることを知ってもらう →若い世代の関心事は「子育て」の手厚さ！ ◆医療費の補助をする →子どもを育てやすい環境が整えば人が集まる ◆公共施設の PR →若い世代が地域を知り活用できる →施設利用の活性化につながる

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
◆若い人々や子どもが学ぶ場所を多くつくる →遠くまで行かなくても、近くに学ぶ場があると白井に居てもらえるから
【人の足を白井に向ける】 ◆誘致 →若い世代が働ける →雇用の拡大につながる ◆自動販売機を置く →近くに飲み物を買える場所が少ない ◆将来性のある「まち」だと認めてもらう →将来に不安がある「まち」には永住したくない！ ◆ナタリヤをもう一度営業する →ものを買える場所があまり近くにない ◆働き場所が白井で、そこに楽しい場があるような所をつくる（例えば工業団地の中に遊園地のような施設を作る） →生計が立てられる職場が楽しいところでなくてはいけないので ◆大企業　商業施設の誘致 →買い物の利便性向上とレジャーの場所確保
【その他】 ◆同世代が満足して住んでいることを知ってもらう →同世代（若い世代）の満足度が高ければ人は集まる ◆現役世代の負担を緩和 →手取りを増やす ◆農業の改革支援 →農業の後継者確保と、若年層の流出を防ぐ ◆市民協働をやめる →市が責任を持って維持する事

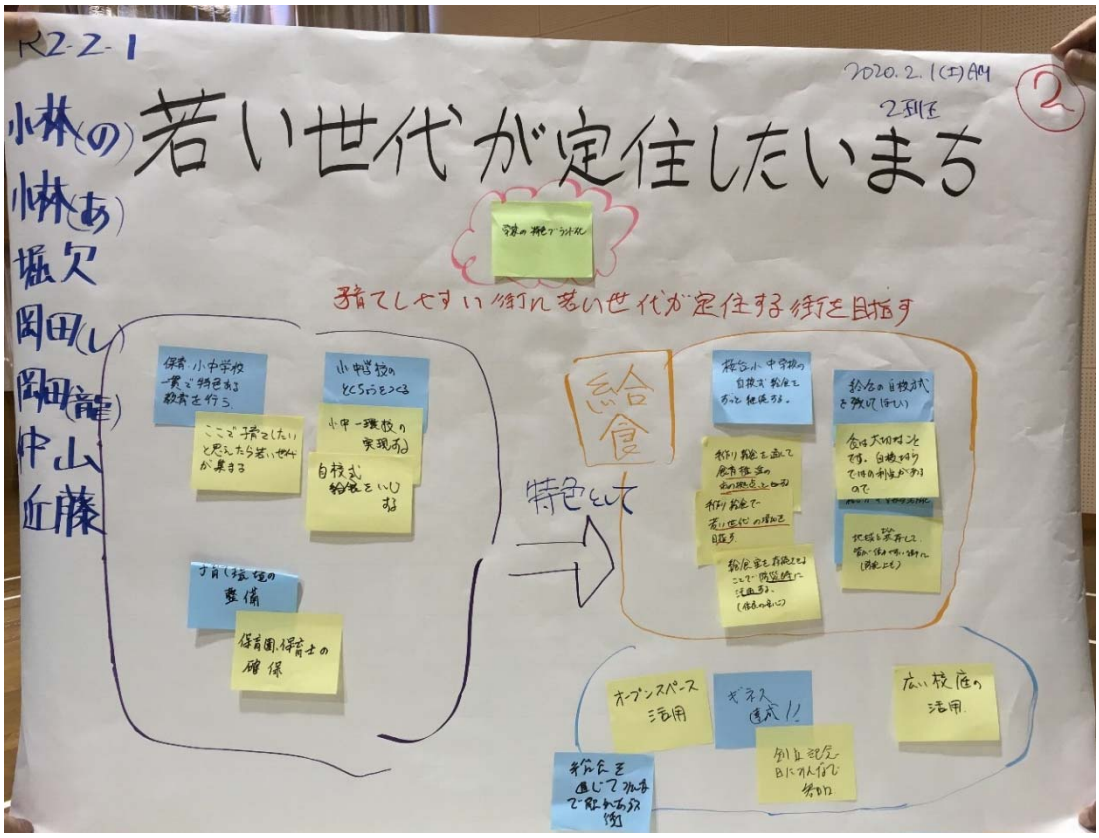
≪ワークショップの結果≫　2020 年 2 月 1 日（土）午前　桜台センター　【2 班①】



若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【良い所を生かした現状維持】 ◆小ぢんまりした街 →これ以上手を広げない ⇒連帯感の創出 ⇒印西への便乗
【街の環境】 ◆郵便局（簡易）の誘致 →乳幼児のいる子育て世代や高齢者が気軽に利用できる ◆千葉 NT 駅前の駐輪場の料金を西白井・白井駅前を同額にする →子育て世代の年間の負担を減らし働きやすくする
【医療・介護・福祉面の充実】 ◆福祉の充実（介護施設） →高齢者が安心して暮らせる ◆高校生までの医療の援助をする →子育て世代に少しでも余裕を持ってもらう

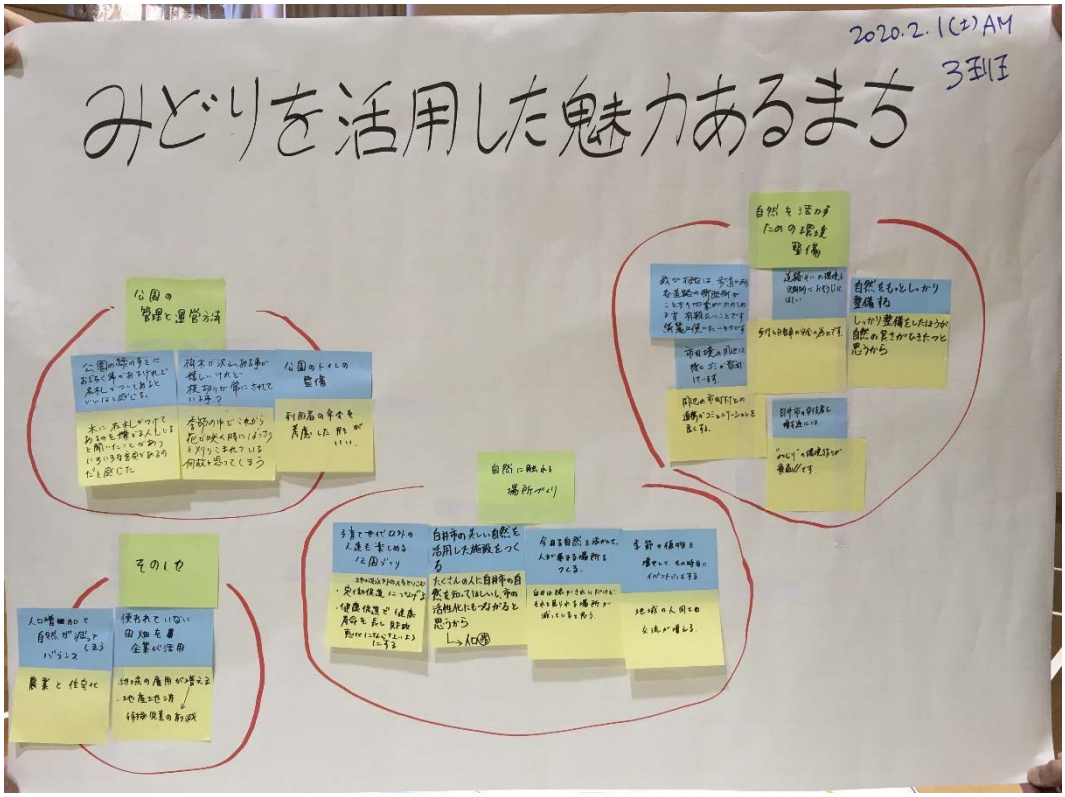
若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【防犯の強化・連携】 ◆防犯のしっかりしている街 →登下校に合わせた犬の散歩などして見守る
【地域の人々の交流の場を増やす】 ◆桜台統一祭りの実施 →地域の連帯感が生まれる ◆地域と学校の交流の場を増やす →地域の連携　一体感
【市内で働ける環境をつくる】 ◆働く環境 ◆白井市内に働く場を増やしてほしいです →専業主婦に職を与えることにより生活が安定する ◆働く場をつくる →仕事と家事の両立ができるようにする →近くの職場であれば家族の時間が多くとれる →工業団地雇用の誘致 ◆パートだけでなく女性が子育てしながら正社員で働ける場を →やりがいのある仕事ができるよう。税収入も多くなる ◆北総線の運賃を下げる →世帯の年間の負担を減らし住みやすくする

≪ワークショップの結果≫　2020 年 2 月 1 日（土）午前　桜台センター【2 班②】



若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【学校のブランド化】 ◆保育・小中学校一貫で特色ある教育を行う →ここで育てたいと思えたら若い世代が集まる ◆小・中学校の特徴をつくる →小中一貫校の実現する自校式給食を維持する ◆子育て環境の整備 →保育園・保育士の確保
【給食】 ◆給食の自校方式を残してほしい →食は大切なことです。自校ならではの利点があるので ◆桜台小中学校の活性化 →地域とさらに共存して皆が働きやすい街に（防犯にも） ◆桜台小中学校の自校式給食をずっと継続する →手作り給食を通して食育推進の市の拠点とする →手作り給食で若い世代の増加を目指す →給食室を存続させることで防災時に活用する（住民の安心）
◆広い校庭の活用 ◆ギネス達成！ →創立記念日にみんなで参加 ◆給食を通じてみんなで触れ合える街 →オープンスペース活用

≪ワークショップの結果≫　2020 年 2 月 1 日（土）午前　桜台センター



みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由

【自然を生かすための環境整備】

◆自然をもっとしっかり整備する

→しっかり整備をしたほうが自然の良さが引き立つと思うから

◆道路沿いの環境を定期的にお掃除してほしい

→歩行と自転車の安全のためにです

◆白井市の安住者を増やすためには

→“みどり”の環境つくりが最適！です

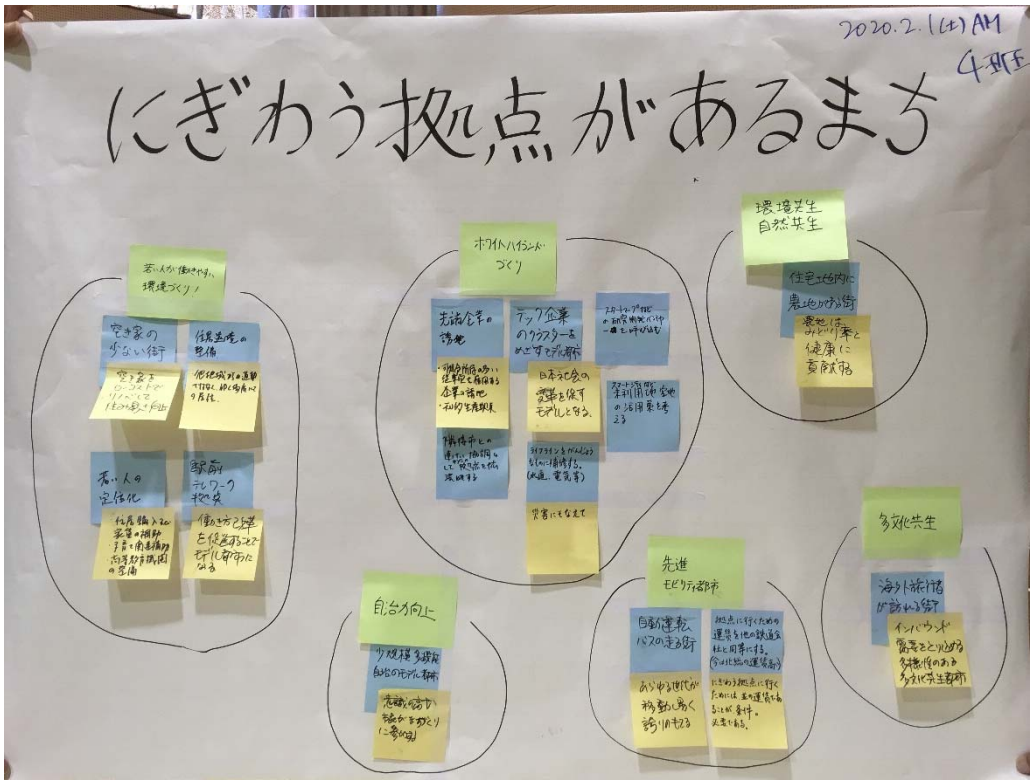
◆我が桜台は、歩道があり各道路の街路樹が異なり四季が楽しめます。ありがたいことです。綺麗に使いたいものです

◆市内境の周辺は特にゴミが散乱しています

→周辺の市町村との連携がコミュニケーションを良くする

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【自然に触れる場所づくり】 ◆季節の植物を増やして、その時毎にイベントをする →地域の人同士の交流ができる ◆今ある自然を活かして、人が集まる場所をつくる →白井はみどりがきれいだけど、それを見られる場所が減っていると思う ◆白井市の美しい自然を活用した施設をつくる →たくさんの人に白井市の自然を知ってほしいし、市の活性化にもつながると思うから⇒人口増 ◆子育て世代以外の人達も楽しめる公園づくり →・地域以外の人を取り込む定住の促進につなげる ・健康促進で健康寿命を長くし、財政悪化にならないようにする
【公園の管理と運営方法】 ◆公園のトイレの整備 →利用者の年齢を考慮した形がいい ◆樹木が沢山ある事が嬉しいけれど、枝切りが常にされていること？ →季節の中でこれから花が咲く時にばっさりと刈り込まれている。なぜと思ってしまう ◆公園のみどりの多さに驚くことがあるけれど名札が付いているといいなと感じる →木に名札が付けてあるのを嫌がる人もいると聞いたことがあり、いろいろな意見があるのだと感じた
【その他】 ◆使われていない田畑を企業が活用 →・地域の雇用が増える→待機児童の削減 ・地産地消 ◆人口増加と自然が減ってしまうバランス →農業と住宅化

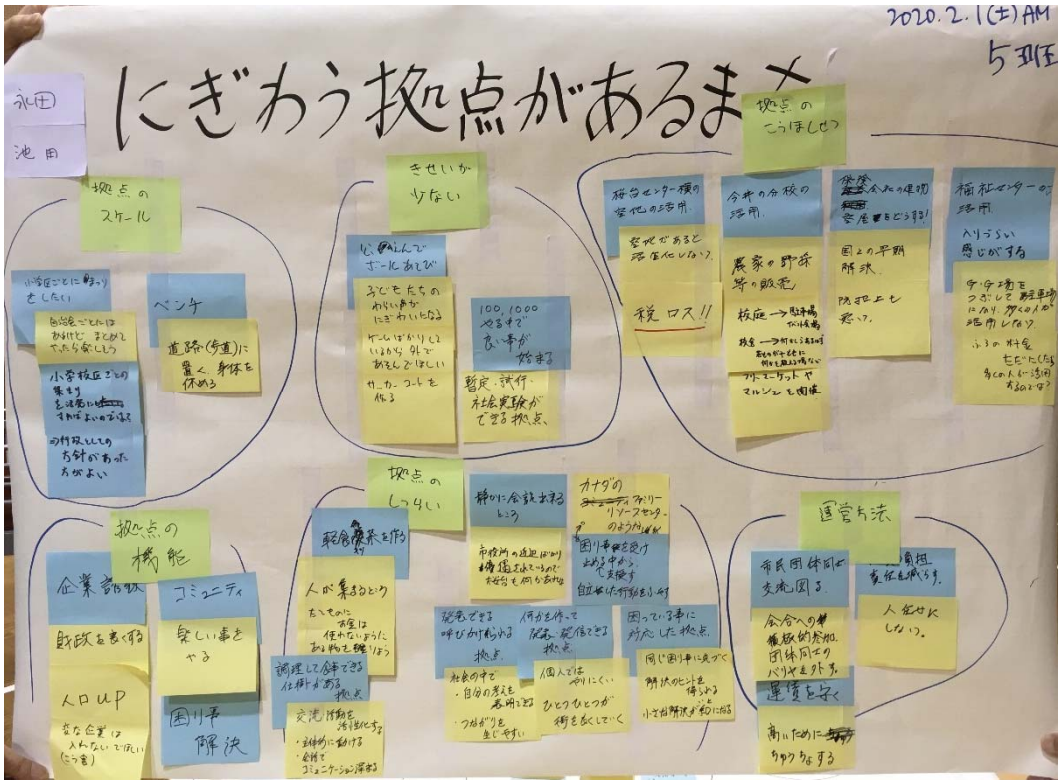
≪ワークショップの結果≫　2020 年 2 月 1 日（土）午前　桜台センター



にぎわう拠点があるまち
◆「実現するために重要なこと →その理由
【環境共生　自然共生】 ◆住宅地内に農地がある街 →農地はみどり率と健康に貢献する
【多文化共生】 ◆海外旅行者が訪れる街 →インバウンド需要を取り込める多様性のある多文化共生都市
【ホワイトハイランドづくり】 ◆スタートマップなどの研究開発ベンチャーを呼び込む ◆スマートシティなど未利用地・空地の活用活用策を考える ◆テック企業のクラスターを目指すモデル都市 →日本社会の変革を促すモデルとなる ◆ライフラインを頑丈なものに補修する。（水道・電気など） →災害に備えて ◆先端企業の誘致 →・可処分所得の多い従業員を雇用する ・知的生産拠業

にぎわう拠点があるまち
◆「実現するために重要なこと →その理由
【先進モビリティ都市】 ◆拠点に行くための運賃を他の鉄道会社と同等にする（今は北総線の運賃高い） →にぎわう拠点に行くためには、並みの運賃であることが条件。必要である ◆自動運転バスの走る街 →あらゆる世代が移動しやすく誇りのもてる
【若い人が働きやすい環境づくり！】 ◆住居環境の整備 →他地域からの通勤ではなく働く場所にての居住 ◆駅前のテレワーク拠点 →働き方改革を促進することでモデル都市になる ◆空き家の少ない街 →空き家をローコストでリノベして住みやすさ向上 ◆若い人の定住化 →・住居購入まで家賃の補助 ・子育て関連補助 ・高等教育関連の整備
【自治力向上】 ◆小規模多機能自治のモデル都市 →意識の高い市民がまちづくりに参加する

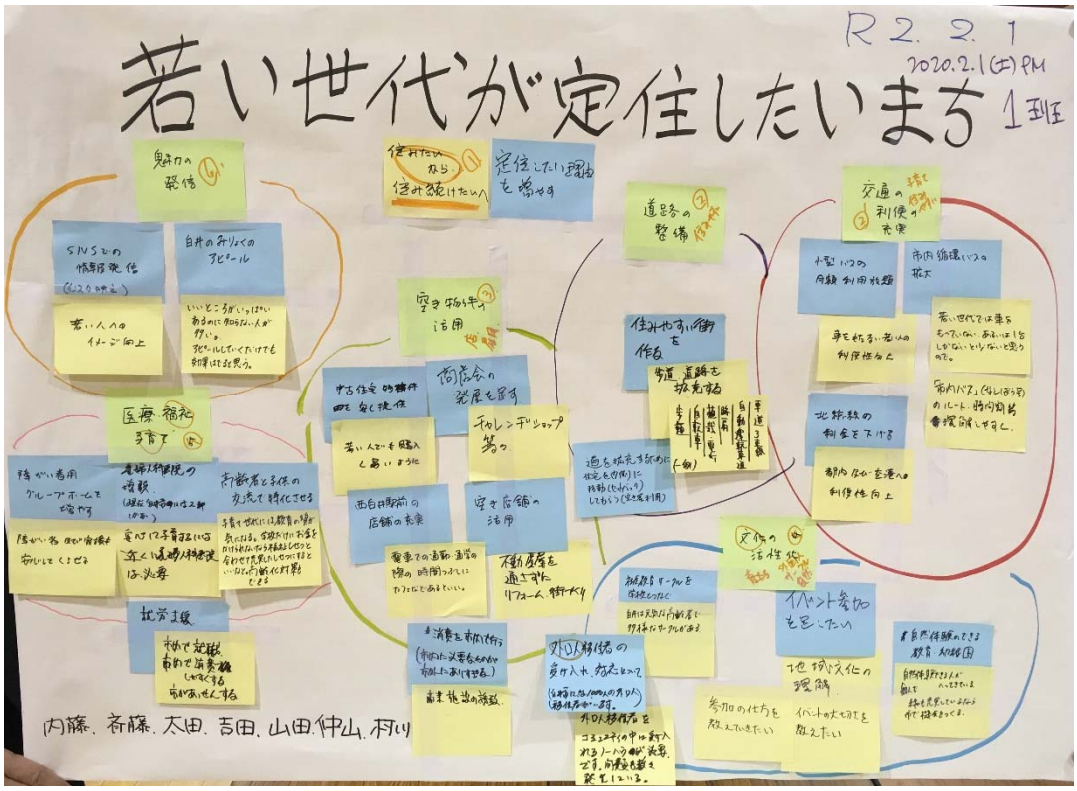
≪ワークショップの結果≫　2020 年 2 月 1 日（土）午前　桜台センター



にぎわう拠点があるまち
◆「実現するために重要なこと」 →その理由
【拠点の候補施設】 ◆福祉センターの活用　入りづらい感じがする →G・G 場を潰して駐車場になり、多くの人が活用しない →風呂の利用料金タダにしたら多くの人が活用するのでは？ ◆社会保険大学校の建物空室をどうする！ →国との早期解決。防犯上も悪い ◆今井の分校の活用 →農家の野菜などの販売 →校庭→駐車場イベント会場 →校舎→何かしらあるはず　若者が子どもに何かを教える場など →フリーマーケットやマルシェを開催 ◆桜台センター横の空き地の活用 →空き地があると活性化しない →税ロス！
【運営方法】 ◆役員負担・責任を減らす →人任せにしない ◆市民団体同士交流を図る →会合への積極的参加。団体同士のバリアを外す ◆運賃を安く →高いために躊躇する

にぎわう拠点があるまち
◆「実現するために重要なこと」 →その理由
【規制が少ない】 ◆100、1000 やる中で良い事が始まる →暫定・試行・社会実験ができる拠点 ◆公園でボール遊び →子ども達の笑い声がにぎわいになる →ゲームばかりしているから外で遊んでほしい →サッカーコートを作る
【拠点のしつらい】 ◆困りごとを受け止め支援する中から自立した行動を増やす →カナダのファミリーリソースセンターのような ◆困ってる事に対応した拠点 →同じ困り事に気づく解決のヒントを得られると小さな解決が糸口になる ◆静かに会議できるところ →市役所の近辺ばかり優遇されているので桜台もなにかあれば ◆何かを作って発表・発信できる拠点 →個人ではやりにくい　ひとつひとつが街を良くしていく ◆発表できる呼びかけられる拠点 →社会の中で ・自分の考えを発表できる ・つながりを生じやすい ◆軽食喫茶を作る →人が集まるところ　建物にお金は使わないようにある物を利用 ◆調理して食事できる仕掛けがある拠点 →交流・活動を活性化する ・主体的に動ける ・会話でコミュニケーション深まる
【拠点のスケール】 ◆ベンチ →道路（歩道）に置く、身体を休める ◆小学区ごとに祭りをしたい →自治会ごとにはあるけど、まとめてやったら楽しそう ◆小学校区ごとの集まりを活発にすればよいのでは⇒行政としての方針があった方が良い
【拠点の機能】 ◆コミュニティ →楽しいことをやる ◆困り事解決 ◆企業誘致 →財政を良くする →人口 UP →変な企業は入れないでほしい（公害）

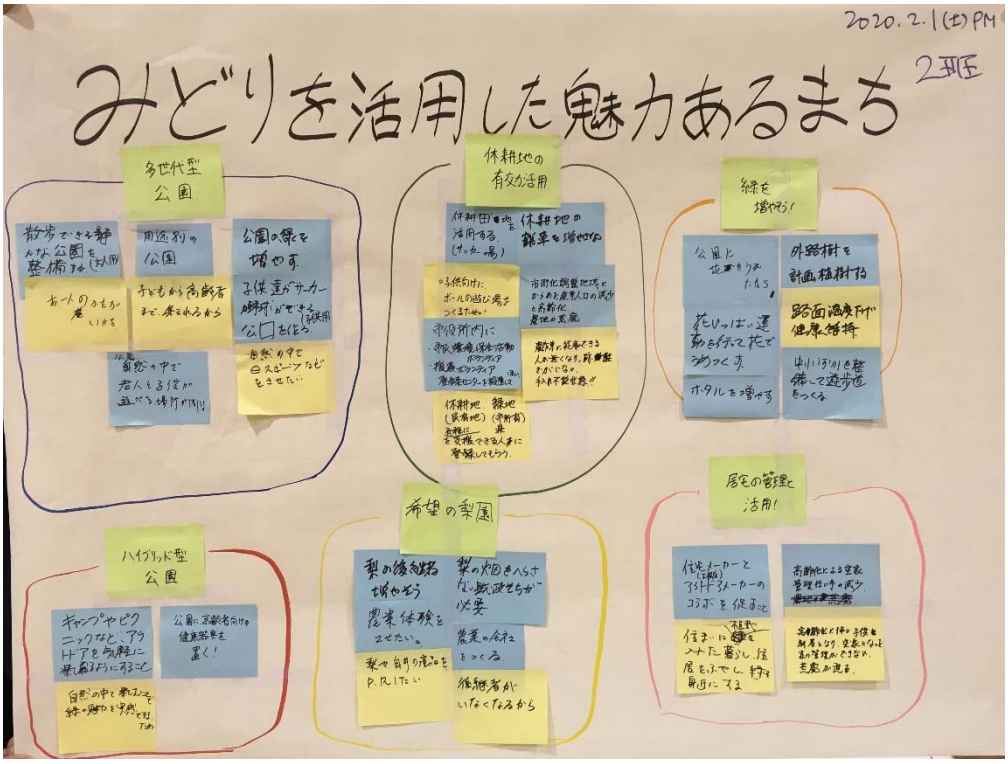
≪ワークショップの結果≫　2020 年 2 月 1 日（土）午後　冨士センター



若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【住みたいから住み続けたいへ】 ◆定住したい理由を増やす
【交通の利便の充実　子育て・住みやすい】 ◆市内循環バスの拡大 →若い世代では車を持っていない。あるいは１台しかないと少ないと思うので →「市内バス」（ナッシー号）のルート、時間割など理解しやすく ◆小型バスの月額利用放題 →車を持たない若い人の利便性向上 ◆北総線の料金を下げる →都内及び空港への利便性向上
【道路の整備　住みやすい】 ◆住みやすい街を作る →歩道・道路を拡充する （一例）車道３車線・自動運転車道・路肩・植栽・電灯・自転車・歩道 ◆道を拡充するために住宅を内側に移動（セットバック）してもらう（空き地利用）

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【空き物件の活用】 ◆商店街の発展を促す →チャレンジシップなど ◆空き店舗の活用 →不動産屋を通さずにリフォーム・街づくり ◆中古住宅物件安く提供 →若い人でも購入しやすいように ◆西白井駅前の店舗の充実 →電車での通勤・通学の際の時間つぶしにカフェなどあるといい ◆消費を市内で行う（市内に必要なものが市外にありすぎる） →商業施設の誘致
【医療・福祉・子育て】 ◆高齢者と子どもの交流で特化させる →子育て世代には教育の質が気になる。学校だけにお金をかけられないなら福祉施設と合せて充実した施設にするといいなと。高齢化対策もできる ◆産婦人科医院の増設（現在白井市には２軒しかない） →安心して子育てするには近くに産婦人科医院は必要 ◆就労支援 →市内で就職、市内で消費しやすくする。市が斡旋する ◆障がい者用グループホームを増やす →障がい者及び家族も安心して暮らせる
【文化の活性化】 ◆自然体験のできる教育・幼稚園 →個人で自然体験できる人が減ってきている。みどりも充実しているなら市で機会をつくる ◆イベント参加を促したい →地域文化の理解 →イベントの大切さを教えたい →参加の仕方を教えていきたい ◆社会教育・サークルを学校とつなぐ →白井は元気な高齢者で多様なサークルがある ◆外国人移住者の受け入れ、対応について（白井市に約 1000 人の外国人移住者がいます） →外国人移住者をコミュニティの中に受け入れるノウハウが必要です。問題も数々発生している
【魅力の発信】 ◆白井の魅力のアピール →いいところがいっぱいあるのに知らない人が多い。アピールしていくだけでも効果はでると思う ◆SNS での情報発信（インスタ映え） →若い人へのイメージ向上

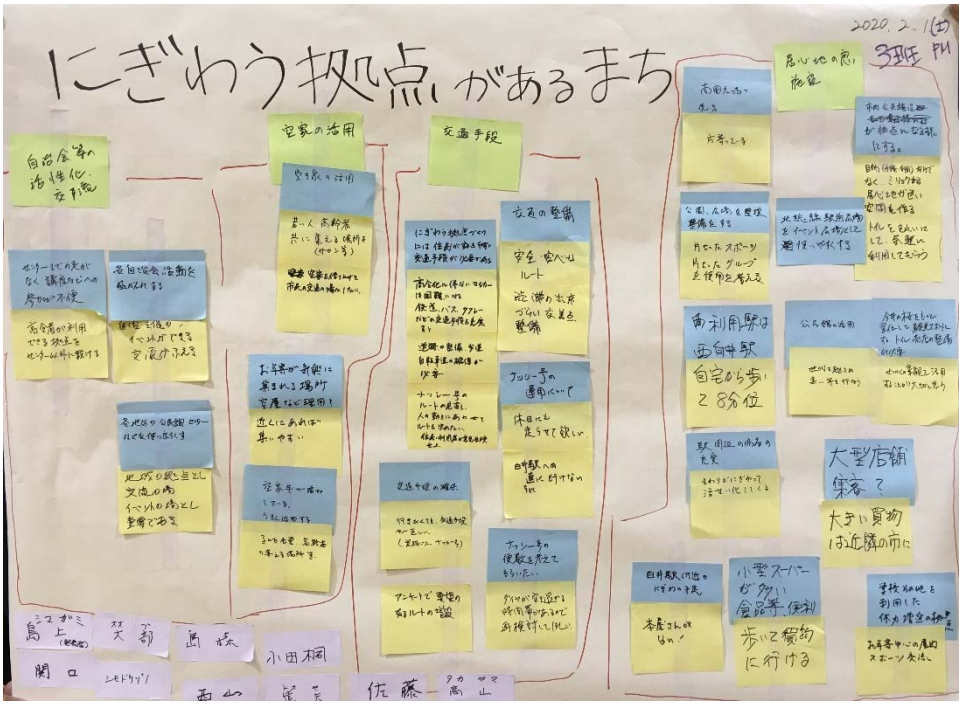
≪ワークショップの結果≫　2020 年 2 月 1 日（土）午後　冨士センター



みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【みどりを増やそう！】 ◆街路樹を計画植樹する →路面温度下げ健康維持 ◆中小河川を整備して遊歩道をつくる ◆公園に花を植えたなら！ ◆花いっぱい運動を行って花で埋め尽くす ◆ホタルを増やす
【居宅の管理と活用！】 ◆高齢化による空き家管理担い手の減少 →高齢化に伴い子どもと別居となり空き家となった家の管理ができない。荒廃が進む ◆住宅メーカー（工務店）とアウトドアメーカーのコラボを促すこと →住まいに植栽を入れた暮らし、住居を増やし、みどりを身近にする

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【休耕地の有効活用】 ◆休耕地の雑草を増やさない ◆市街化調整地域にからめた農業人口の減少と高齢化。農地の荒廃 →農作業に従事できる人が無くなり、跡継ぎがいない。手入れ不能状態！ ◆休耕　　地を活用する（サッカー場） →子ども向けにボールの遊び場をつくるため！ ◆市役所内に ・市民環境保全活動ボランティア ・援農ボランティア登録センターを設置してほしい →休耕地（民有地）・緑地（市・県所有）を気軽に支援できる人に登録してもらう
【希望の梨園】 ◆梨のお畑を減らさない財政措置が必要 ◆農業の会社をつくる →後継者がいなくなるから ◆梨の後継者増やそう ◆農業体験をさせたい →梨や白井の産品を PR したい
【多世代公園】 ◆公園のみどりを増やす ◆子ども達がサッカー・野球ができる（子ども用）公園を作る →自然の中で e スポーツなどをさせたい ◆用別途の公園 →子どもから高齢者まで、集まれるから ◆公園・自然の中で老人と子どもが遊べる場所がほしい ◆散歩できる静かな公園を（大人用）整備する →お一人の方が行ける
【ハイブリッド型公園】 ◆公園に高齢者向けの健康器具を置く！ ◆キャンプやピクニックなど、アウトドアを気軽に楽しめるようにすること →自然の中で楽しむことでみどりの魅力を実感できるため

≪ワークショップの結果≫　2020 年 2 月 1 日（土）午後　冨士センター



にぎわう拠点があるまち

◆「実現するために重要なこと」
　→その理由

【居心地の良い施設】

◆市内公共施設が拠点となるようにする
　→目的（手続き・利用）だけでなく、魅力ある居心地が良い空間を作る
　→トイレをきれいにして、気軽に利用してもらう

◆今井の桜をもっと宣伝して、観光スポットとする。トイレ・売店の整備が必要
　→せっかくの景観を活用することが大切と思う

◆大型店舗集客？
　→大きい買い物は近隣の市に

◆学校その他を利用した体力増進の拠点
　→お年寄中心の屋内スポーツ交流

◆北総線駅前公園広場をイベント広場として使いやすくする

◆公民館の活用
　→世代を越えた集いなどを行う

◆南園広場の使い方
　→片寄っている

◆公園・広場を整理、整備をする
　→片寄ったスポーツ片寄ったグループの使用を考える

◆利用駅は西白井駅
　→自宅から歩いて 28 分くらい

◆駅周辺の商店の充実
　→周りがにぎわって活性化してくる

◆小型スーパーが多い食品など、便利
　→歩いて買い物に行ける

◆白井駅付近のにぎわい不足　→本屋さんがない！

にぎわう拠点があるまち
◆「実現するために重要なこと」 →その理由
【交通手段】 ◆交通の整備 →安全・安心なルート →渋滞の出来づらい交差点整備 ◆ナッシー号の運用について →休日にも走らせてほしい →白井駅へ直に行けない ◆ナッシー号の便数を考えてもらいたい →ダイヤが空き過ぎる時間帯があるので再検討してほしい ◆にぎわう拠点づくりには住民が動きやすい交通手段が必要である →高齢化に伴いマイカーは困難になる 鉄道・バス・タクシーなどの交通手段を充実する →道路の整備・歩道・自動車道の確保が必要 →ナッシー号のルートの見直し。人の動きにあわせてルートを決めたい。住民・利用者の意見反映せよ ◆交通手段の確保 →行きたくても、交通手段が乏しい（定期バス・ナッシー号） →アンケートで要望のあるルートの増設
【空き家の活用】 ◆空き家の活用 →若い人・高齢者共に集える場所を（サロンなど） →空き家を借り上げて市民の交通の場にしたい ◆お年寄りが気軽に集まれる場所空き家など活用？ →近くにあれば集いやすい ◆空き家などが増加している。うまく活用する →子ども食堂・高齢者の集える場所など
【自治会などの活性化・交流】 ◆各自治会活動を盛んにする →自治主義のイベントができる、交流が増える ◆各地区の公民館センターなどを使い良くする →地域の拠点とし交流の場　イベントの場とし重要でもある ◆センターまでの足がなく、講座などへの参加が不便 →高齢者が利用できる拠点をセンター以外に設ける